

# Schaerer Coffee Prime

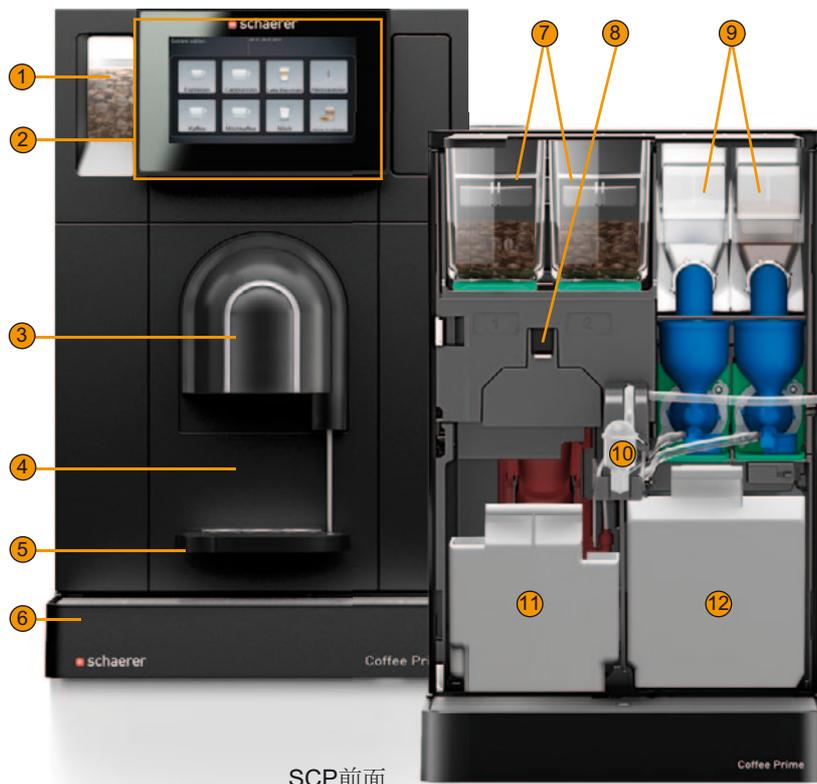
---

## 取扱説明書

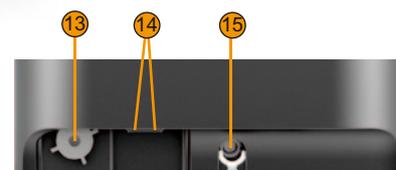
V08 / 08.2018



- ① ビーンホッパーのレベル確認ウインドウ
- ② 操作パネル
- ③ 飲み物の注出口 (熱湯の注出も可能)
- ④ サービスドア
- ⑤ カップ受け
- ⑥ カップ受け付きドリフトレイ
- ⑦ ビーンホッパー
- ⑧ クリーニングタブレット投入口
- ⑨ パウダーケース
- ⑩ 使い捨てフォーマーヘッド
- ⑪ コーヒーかすコンテナ
- ⑫ 飲料水タンク
- ⑬ 規定された水供給源
- ⑭ 電源及びメインスイッチ オン/オフ
- ⑮ 排水口



SCP前面



SCP背面

- ① ステータスバー
- ② スマートインフォ (情報、操作説明、エラーメッセージ)
- ③ [キャンセル] フィールド
- ④ [オペレーターサービスメニュー] フィールド
- ⑤ 飲み物フィールド (プログラミング可能)
- ⑥ 飲み物注出の進行状況表示
- ⑦ [熱湯すぎ] フィールド
- ⑧ [バリスタ] プリセクション・フィールド
- ⑨ [デカフェ] プリセクション・フィールド
- ⑩ 飲み物インデックス (プログラミング可能)



# Schaerer Coffee Prime

## 取扱説明書

V08 / 08.2018

---

### 出版者

Schaerer Ltd., P.O. Box 336, Allmendweg 8, CH-4528 Zuchwil

---

### 版

バージョン 08 | 08.2018

---

### ソフトウェア

V2.75

---

### コンセプトおよび編集

Schaerer Ltd., P.O. Box 336, Allmendweg 8, CH-4528 Zuchwil

---

### Copyright ©

Schaerer Ltd., P.O. Box 336, Allmendweg 8, CH-4528 Zuchwil

---

本書は著作権で保護されています。無断複写・転載を禁じます。Schaerer Ltd. の書面による事前の許可なくして、本書の内容を複写、配布、電子的に転送することや、多言語に翻訳することは禁じられています。これは本書の全部または一部に対して適用します。本書の内容は、印刷時に利用可能な最新データによるものです。Schaerer Ltd. は事前の予告なしに変更を行う権利を有します。本書中のすべての図、図解や表示メッセージは例です！幅広いオプションにより、お使いの機械が本書に示された機械と異なる可能性があります。Schaerer AG の責任は、ドイツ語版の原文に限るものとします。

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>6</b>	マシンのサービスドアを開く .....	30
序文 .....	6	操作工要素の表示 .....	31
記号とマーク .....	6	充填と接続 .....	32
<b>一般的な安全に関する注意事項</b> .....	<b>7</b>	コーヒー豆 .....	32
使用者への危険 .....	7	水 .....	33
機械への危険 .....	10	マシン用パウダー (オプション) .....	33
<b>製品の説明</b> .....	<b>11</b>	ミルク (オプション) .....	34
適切な用途 .....	11	商品の引渡し .....	37
飲み物の種類と性能 .....	11	カップ受けの調整 .....	37
梱包内容とアクセサリ .....	13	飲み物 .....	37
オプションおよび周辺機器 .....	14	飲み物 (ダブル) (オプション) .....	37
テクニカルデータ .....	19	ポットへのコーヒー注出* (オプション) .....	37
定格銘板 .....	20	熱湯 .....	38
適合宣言書 .....	20	冷水* (オプション) .....	38
製造者住所 .....	20	ホットミルク (オプション) .....	38
適用規格 .....	20	ミルクフォーム (オプション) .....	38
<b>取付けと試運転</b> .....	<b>22</b>	商品の引渡しオプション .....	39
設置 .....	22	注出モード .....	39
使用場所 .....	22	作動中の商品の引渡しを中断 .....	39
気候 .....	22	プレ選択 .....	39
電源供給 .....	22	[DECAF] ボタン .....	39
条件 .....	22	コーヒーの濃度を選択 .....	40
電源接続ケーブル .....	23	[加熱すぎ] ボタン .....	40
電源条件 .....	23	空にする .....	40
水の供給 / 排水 .....	24	コーヒーかすコンテナ .....	40
条件 .....	24	廃水 .....	41
水の条件 .....	24	廃水タンク (オプション) .....	42
取付け .....	24	輸送条件 .....	42
マシンの開封 .....	24	スタンバイ .....	43
電源接続 .....	25	スイッチを切る .....	43
自動試運転プログラム .....	25	作業の終了 .....	43
解体と廃棄 .....	25	長時間にわたる使用停止 (1週間以上) .....	43
<b>操作</b> .....	<b>26</b>	<b>クリーニング</b> .....	<b>44</b>
スイッチを入れる前の点検 .....	26	クリーニング間隔 .....	44
スイッチを入れる .....	26		
メイン画面のタッチスクリーン .....	27		
概要 .....	27		

自動スイッチオン / オフのすすぎ	45	サービスルーチン	57
毎回の充填前	45	<b>プログラミング</b>	<b>59</b>
内部の飲料水タンク	45	概要	59
マシンの自動クリーニング開始	45	解説	59
クリーニングは 2 日に 1 回自動で	46	USB 接続口	60
コーヒーかすコンテナ	46	管理人プロフィール	61
雫受け	46	システム	61
コーヒーマシンのクリーニング剤	46	設定	64
NcFoamer の交換 ( オプション )	47	サービス	68
パウダーシステムのみキサーカップ ( オプション )	47	インフォメーション	70
クリーニングは 2 日に 1 回手作業で	48	会計担当プロフィール	70
ミルクコンテナ ( オプション )	48	会計人プロフィール 縮小版	71
水道水供給時の内部飲料水タンク	48	マシン担当者プロフィール	72
個別冷却ユニットの内部 ( オプション )	49	設備管理人プロフィール	73
タッチスクリーン	49	品質管理マネージャープロフィール	74
マシンの外側	49	<b>障害の除去</b>	<b>76</b>
必要であれば	49	「スマート インフォ」画面	76
抽出ユニット	49	メッセージ伴う障害	76
コーヒー豆ケース	50	<b>注意事項</b>	<b>80</b>
パウダーケース ( オプション )	50	洗剤	80
廃水タンク ( オプション )	52	用途	80
強制クリーニング	52	保管	80
HACCP 手法	52	廃棄	80
クリーニング規則	52	緊急連絡先	80
洗剤	53	衛生規則	81
クリーニングタブレット	53	水	81
カルキ抜き	54	コーヒー	81
<b>サービスおよびメンテナンス</b>	<b>55</b>	ミルク	81
カルキ抜き	55	マシン用パウダー / インスタントパウダー	82
フィルター ( オプション )	55	<b>保証</b>	<b>83</b>
内部飲料水タンク用フィルターの取付け ( オプション )	55	使用会社の義務	83
内部飲料水タンク用フィルターの交換 ( オプション )	56	保証および損害賠償請求	83
外部の水フィルター	57		
メンテナンス	57		

# はじめに

## 序文

このマシンにより、次世代のコーヒーマシンをお客様にお届けいたします。本マシンには主要機能のほか、当社の数十年来の経験が詰め込まれています。

この取扱説明書には製品の説明、使用方法、そしてクリーニング方法が記載されています。マシンを本書の指示通りに使用しない場合、損傷が生じた場合には保証の対象からは一切外れるためご注意ください。ただ、本取扱説明書はすべての用途に対処しているわけではありません！詳細情報に関しては、当社のカスタマーサービスまでご連絡ください。

適切な用途とメンテナンスがマシンの性能に影響を及ぼします。初めて試運転を行う前には本取扱説明書によく目を通し、本書を手の届く場所に保管してください。

どうぞコーヒーマシンをご活用ください！

## 記号とマーク



「安全に関する注意事項」!の章を参照。

本取扱説明書では、危険事項や特別な注意を促すために以下の記号およびマークが使用されています：

**危険！**  
**感電注意！**



感電による死亡事故や重傷を負う恐れのある非常に危険な状況を示しています。危険回避のため、記載された処置を厳守してください。

**注意！**  
**使用者のため危険！**



怪我につながる恐れのある一般的に危険を伴う状況を示します。危険回避のため、記載された処置を厳守してください。

**注意！**  
**機械のため危険！**



マシンへの物的損傷につながる恐れのある状況を示しています。危険回避のため、記載された処置を厳守してください。

**注意！**  
**高温液体に注意！**



火傷による怪我につながる恐れのある危険な状況を示します。商品の引渡し場所にてこの危険があります。以下ではマークのみで表示されます。危険回避のため、記載された処置を厳守してください。

**注意！**  
**高温蒸気に注意！**



火傷による怪我につながる恐れのある危険な状況を示します。商品の引渡し場所にてこの危険があります。以下ではマークのみで表示されます。危険回避のため、記載された処置を厳守してください。

**注意！**  
**高温表面に注意！**



火傷による怪我につながる恐れのある危険な状況を示します。商品の引渡し場所およびカップの加熱場所(オプション)にてこの危険があります。以下ではマークのみで表示されます。危険回避のため、記載された処置を厳守してください。

**注意！**  
**圧迫注意！**



圧迫による怪我につながる恐れのある危険な状況を示します。以下ではマークのみで表示されます。危険回避のため、記載された処置を厳守してください。

## 一般的な安全に関する注意事項

シエーラー社の製品は最高の安全性を特徴としています。ただ、怪我や健康への被害を防ぐための以下の章が守られた場合のみ、安全装置の効果が現れます。



安全に関する注意事項はシエーラー社に要求するか、または MediaCentre のウェブページ (<http://www.schaerer.com/member>) から直接ダウンロードすることができます。

### 使用者への危険

注意！  
使用者のため危険！



コーヒーマシンを不適切に取り扱うことで、軽傷を負う恐れがあります。

以下の項目を厳守してください：

- ・ 使用前には取扱説明書にしっかりと目を通してください。
- ・ 機械のサービスエリアへのアクセスは資格のあるサービス技術者にのみ許可されています。
- ・ マシンが正常に作動しない場合や、損傷がある場合には、コーヒーマシンを使用しないでください。
- ・ 取り付けられた安全装置は、どんなことがあっても絶対に変更しないでください。
- ・ 高温のマシンパーツには決して触れないでください。
- ・ 8歳以上の子供、並びに身体的、知覚的または精神的能力の劣っている人物や経験および知識が不足している人物は、本機器の安全な使用に関する教育を受け、そのことから結果として生じる危険を理解した上で、常時監視の下で本機器を使用することができます。子供たちがマシンで遊ばないように注意してください。クリーニングおよびユーザーメンテナンスは、子供が行ってはなりません、特に衛生面で。
- ・ 手入れやメンテナンスに支障をきたさない用にコーヒーマシンを設置してください。
- ・ セルフサービスモードおよびオペレーターサービスモードでは、正しく手入れが行われたことを確認するため、さらに使用に関する質問にスタッフが答えられるよう、訓練を受けたスタッフがマシンに注意を払う必要があります。
- ・ コーヒー豆ケースにはコーヒー豆のみ、パウダーケースにはマシン用パウダーのみ、そして手動挿入口には挽かれたコーヒー（クリーニング中はクリーニングタブレット）のみを入れてください。

危険！  
感電注意！



電気機器を不適切に取り扱くと、感電の恐れがあります。  
以下の項目を厳守してください：

- ・ 電気機器での作業は必ず電気の専門家によって行ってください。
- ・ マシンは必ず保護回路に接続してください（当社では漏電遮断器を介した接続を推奨）。
- ・ 該当の低電圧指針および / もしくは各国、または現地の安全規則および規定に注意してください。
- ・ 必ず規定通りアース接続を行い、感電防止のためにヒューズを取り付けてください。
- ・ 電圧は必ずマシンの定格銘板に記載されたものと一致しなければなりません。
- ・ 電圧の流れているパーツには絶対に触らないでください。
- ・ メンテナンス作業を実行する前には、必ずメインスイッチを切るかマシンを電源から外してください。
- ・ 電源ケーブル交換は必ず資格を有するサービス技術者に依頼してください。

注意！  
使用者のため危険！



添加物またはその残りが飲み物にあると、アレルギーを引き起こす可能性があります。  
以下の項目を厳守してください：

- ・ セルフサービスで使用する場合は、マシンに取り付けられた表示ラベルで、アレルギーを引き起こす可能性のある使用された添加物についての情報を知らせます。
- ・ サービス付きの場合は、訓練を受けたスタッフが、アレルギーを引き起こす可能性のある使用された添加物についての情報を知らせます。

注意！  
使用者のため危険！



洗剤を体内に取り込むことにより、中毒を起こす危険があります。  
必ず以下の項目を厳守してください：

- ・ 洗剤は子供や関係者以外の人物の手の届かない場所に置いてください。
- ・ 洗剤を飲み込まないでください。
- ・ 洗剤は決してその他の化学物質や酸と混合しないでください。
- ・ ミルクコンテナには決して洗剤を使用しないでください。
- ・ 飲料水タンク（内部 / 外部）には決して洗剤を使用しないでください。
- ・ 洗剤およびカルキ抜きはそれぞれ指定の用途にのみ使用してください（ラベルを参照）。
- ・ 洗剤使用中は飲食を行わないでください。
- ・ 洗剤使用中はしっかりと換気が行われていることに注意してください。
- ・ 洗剤使用中は保護手袋を着用してください。
- ・ 洗剤使用後はすぐに丁寧に手を洗ってください。



洗剤使用前には、パッケージの情報に注意深く目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社（洗剤のパッケージを参照）にこれを請求することができます。

注意！  
高温液体に注意！



飲み物、熱湯、スチームが出る箇所では火傷の恐れがあります。  
これらが出ている間、またはクリーニング中は商品の注出場所に手を触れないでください。

注意！  
高温表面に注意！



商品の注出場所と抽出ユニットは高温になる恐れがあります。飲み物の注出には必ず対応のグリップを使用してください。抽出ユニットのクリーニングは必ずマシンを冷ました状態で行ってください。

注意！  
圧迫注意！



すべての可動コンポーネントを取り扱う際には挫傷を負う恐れがあります。コーヒーマシンのスイッチが入った状態では、絶対にコーヒー豆およびパウダーケース、または抽出ユニットの開口部に手を入れないでください。

## 機械への危険

注意！  
機械のため危険！



コーヒーマシンを不適切に取り扱うことで、損傷や汚れにつながる恐れがあります。

以下の項目を厳守してください：

- ・ 炭酸塩硬度が 5°dKH 以上の水を使用する場合、手前にカルキフィルターを取り付けてください。これを怠るとカルキによってコーヒーマシンに損傷がおよぶ恐れがあります。
- ・ 保証規定より、閉店後はメイン水バルブ（水道水に接続されるコーヒーマシン）が閉まっているか、そしてメインスイッチが切られているか、または電源コンセントが抜かれていることを常に確認してください。
- ・ 該当の低電圧指針および / もしくは各国、または現地の安全規則および規定に注意してください。
- ・ 水の供給が遮断されている場合、マシンを使用しないでください。これを守らないとポイラーが充填されず、ポンプの空運転につながります。
- ・ シェーラー社では、ホースが破損した場合の水による被害を防ぐため、給水止め弁（現場）を介して水を供給するよう推奨しています。
- ・ 長時間にわたって使用を停止した後（休業期間など）には、再びマシンを使用する前にクリーニングを行ってください。
- ・ マシンが天候の影響（霜、湿気など）から保護してください。
- ・ 障害は必ず資格を有するサービス技術者によって取り除いてください。
- ・ 必ずシェーラー社のオリジナル交換パーツのみを使用してください。
- ・ 目に見える損傷や漏れは直ちにサービスパートナーに報告し、交換もしくは修理を依頼してください。
- ・ マシンには水を吹きかけたり、スチームクリーナーでクリーニングを行わないでください。
- ・ 噴射水がかかる可能性がある場所に機器を設置しないでください。
- ・ キャラメル風味のコーヒー（フレーバーコーヒー）を使用する場合、抽出ユニットは日に 2 回クリーニングしてください。
- ・ コーヒー豆ケースにはコーヒー豆のみ、パウダーケースにはマシン用パウダーのみ、そして手動挿入口には挽かれたコーヒー（クリーニング中はクリーニングタブレット）のみを入れてください。
- ・ 絶対にフリーズドライされたコーヒーは使用しないでください。抽出ユニットのべとつきの元となります。
- ・ コーヒーマシンおよび / もしくは補助機器が 10°C 未満で輸送される場合、コーヒーマシンおよび / もしくは補助機器を電源に接続してスイッチを入れる前に、コーヒーマシンおよび / もしくは補助機器を 3 時間室内温度に置いてください。これが守られない場合、凝縮水によるショートや電気コンポーネントの損傷を招く恐れがあります。
- ・ マシンには常に新しい付属のホースセット（飲料水 / 廃水ホース）を使用してください。絶対に使用済みのホースセットは使用しないでください。

## 製品の説明

### 適切な用途

シェーラー コーヒープライム ( SCP ) およびシェーラー コーヒープライムパワーバック ( SCPP ) は、様々な種類および組み合わせのコーヒードリンク、温水、ミルクドリンクおよびパウダードリンク ( トッピング、チョコレート ) を、カップ、グラスまたはポットに注出するための装置です。スチームノズルはミルクの加熱専用として設計されています。

本機はホテル業、レストラン業または同様の場所における業務用機器です。責任ある人物が本機を使用中の現場にいる場合は、セルフサービスの場所に設置することが許されます。本機は商店、事務所または同様の職場環境、ホテル、モーテルおよび朝食付きの宿で使用し、専門家でない人達またはお客様が操作することができます。

この装置は、8 歳以上の子供や、身体的、感覚的または精神的能力が低下した人、または経験や知識が不足している人でも使用できますが、その場合、監督するか、または装置の安全な使用を指導し、その結果生じる危険を理解させる必要があります。子供たちがマシンで遊ばないようにしてください。清掃とユーザーによるメンテナンスは、監督なしに子供に行わせることはできません。これは、特に安全および衛生に関して、知識と機器の実務経験を持つ人のみが行うことができます。



本機のご使用にあたっては、シェーラー AG 社の「普通取引約款」および付属の取扱説明書の記載内容に従ってください。本機を他の目的で、または指定以上の方法でご使用になった場合、不適切な使用が行われたものとみなされます。これが原因で発生した損害に関してはメーカーは責任を負い兼ねます。

**注意！**  
機械のため危険！



コーヒーマシンを不適切に取り扱うことで、損傷につながる恐れがあります。シェーラー コーヒープライムは、絶対に記載された、または冷たい牛乳 ( 低温殺菌処理、均質化処理、超高温瞬間殺菌 ( UHT 法 ) 済みの ) 以外の液体の加熱または注出に使用しないでください。

### 飲み物の種類と性能

マシンの仕様とオプションにより、以下の飲み物を準備することができます：

一時間毎の飲み物供給量		
飲み物の種類	SCP 1.35/2.0 kW	パワーバック 2.0/3.0 kW
コーヒー / エスプレッソ	60 杯まで	100 杯まで

供給可能な飲み物		
飲み物の種類	SCP 1.35/2.0 kW	パワーバック 2.0/3.0 kW
エスプレッソ	✓	✓
アメリカン / コーヒー	✓	✓
カプチーノ	オプション	オプション
ラテ マキアート	オプション	オプション
パウダードリンク ( チョコ / ミルク )	オプション	オプション
熱湯	✓	✓
小ポット 250 ml	✓	✓
ポット 500 ml	✓	✓

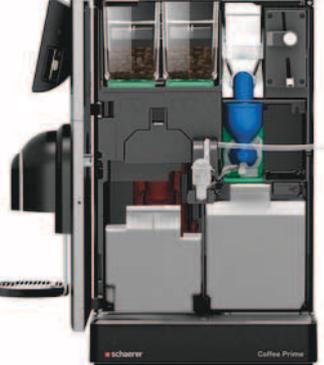
ミルク供給量		
SCP 1.35 kW	パワーパック 2.0 kW	パワーパック 3.0 kW
		
-	+80% ミルク供給量	+130% ミルク供給量
8 oz (約 240 ml) まで	12 oz (約 350 ml) まで	16 oz (約 470 ml) まで

## 梱包内容とアクセサリ

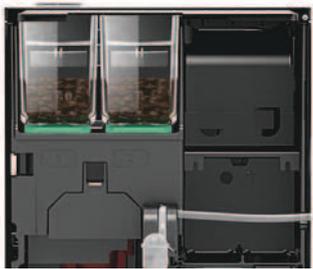
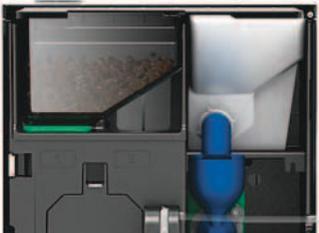
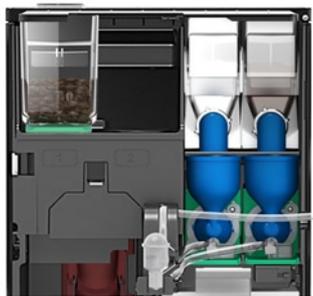
個数	名称	製品番号
1	コーヒーマシン シェーラー コーヒープライム	-
ドキュメント		
1	取扱説明書	-
1	出荷品質に関するフォーム	-
一般アクセサリ		
1	廃水コネクタ付き雫受け	072781
1	カップ受けグリッド	072656
1	雫受け用グリッド	072655
1	交換カートリッジ 200	072617
1	アダプター交換カートリッジ 200	33.2327.1000
1	炭酸塩硬度テスト (2本のテストストリップが入った袋)	067720
1	サービストア オープナー付きマルチツール	072816
1	モリコート グリース 111	33.2179.9000
1*	NcFoamer セット、ミルク吸引ノズル付き、オレンジ、1.15 mm(15個)、標準	072926
1*	NcFoamer UM KE セット、ミルク吸引ノズル付き、オレンジ、1.15 mm(15個)、標準	073015
1*	ミルクホース UM KE の固定ブラケット	072831
1	排水ホース 1500 mm	00.0048.0042
1*	雫受けへの閉じ栓	072904
1*	強化ホース 1.5 m G3/8" ~ G3/4"	33.2292.1000
1*	個別冷却ユニット SCP のセンサーケーブル	072902
1*	廃水バルブセット	072489
1*	バッファ 20x0.6 透明エラストマー 4個、BKE 用	074319
1*	電源ケーブル EU 3x1 mm <sup>2</sup>	063260
	電源ケーブル CH 3x1 mm <sup>2</sup>	063261
	電源ケーブル UK 3x1 mm <sup>2</sup>	071919
	電源ケーブル JP-C13 直角 3x2 mm <sup>2</sup>	069087
クリーニング / クリーニング用アクセサリ		
1	クリーニングタブレット (100個入りケース)	065221
1	クリーニング用ブラシ	062951

\* マシンの仕様に応じて変化。

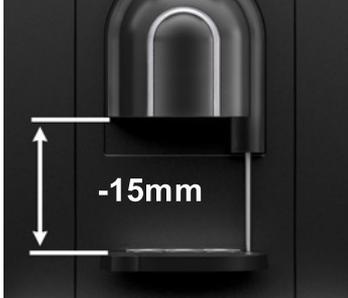
## オプションおよび周辺機器

例	オプション	説明
	パワーバック	<p>オプション「パワーバック」はコーヒー供給力またはコーヒー/ミルク供給力においてより高いボイラー性能を備えています。</p> <p>ボイラー性能は 2 kW または 3 kW です。</p> <p>奥行寸法は 80 mm 深くなります。</p>
	個別冷却ユニット	<p>ミルク スマート付きマシンのための外部冷却ユニット。</p> <p>容量：8 l</p>
	外部硬貨両替機	<p>会計システムは MDB (マルチドロップパス) インターフェースを介して設置することができます。</p> <p>外部支払いシステムは追加的に後付けできます。</p>
	内蔵型の硬貨およびチップセレクター	<p>内部コインセレクターを取り付けることができます。これは二つ目のパウダーシステムの取付け箇所に取り付け、施錠することができます。</p> <p>内部支払いシステムは追加的に後付けできます。</p>

例	オプション	説明
	<p>支払いシステムのインターフェース</p>	<p>MDB スタンダードによる市販の支払いシステムを接続することができます。</p> <p>支払いシステムは追加的に後付けできます。</p> <p>可能なインターフェース：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• MDB-S</li> <li>• DIVA2</li> <li>• DIVA2 Max</li> </ul> <p>供給装置および会計システムへの接続：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• E プロトコル経由</li> <li>• CSI プロトコル経由</li> </ul>
	<p>カップ ディスペンサー</p>	<p>3 種類の異なるサイズのカップを収納できます。いつでも異なるサイズのカップを補充することができます。</p> <p>上部には砂糖、マドラーなどのための 3 つの仕切り付き。</p> <p>カップの大きさ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 直径 60 ~ 74 mm</li> <li>• 直径 75 ~ 82 mm</li> <li>• 直径 83 ~ 90 mm</li> </ul>
	<p>下受け冷却ユニット</p>	<p>ミルク スマート付きマシンのための外部下受け冷却ユニット。</p> <p>容量 :9.5 l</p> <p>NcFoamer UM KE セットとの使用 ( 冷却ユニットの下付けマシン)。</p>
	<p>引き出しおよび内蔵コーヒーかすコンテナ付き下付けユニット</p>	<p>この下付けユニットは、拡張された収容量 ( コーヒー絞りかす 100 個 ) をもつコーヒーかすコンテナを一つ備えています。</p> <p>この下受けユニットは後付けすることができます。</p> <p>コーヒーかすコンテナはモニタリングされていません。</p> <p>引き出しおよび内蔵コーヒーかすコンテナ付き下付けユニットには、オプションの「アンダーカウンター用のコーヒーかす入れ」が必要です。</p>

例	オプション	説明
	<p>個別冷却ユニットおよびカップディスペンサーの下付けユニット。</p>	<p>個別冷却ユニットまたはカップディスペンサーは、下付けユニットを使用することで、下付けユニットおよび内蔵コーヒーがすコンテナ付き引き出しを取り付けたマシンと同じ高さになります。</p> <p>下付けユニットは後付けできます。</p>
	<p>2 基めのグラインダー (標準コーヒー豆ケース付き)</p>	<p>グラインダー付きの 2 つ目のコーヒー豆ケースを後付けすることができます。</p> <p>コーヒー豆ケースの容量 : 600 g</p>
	<p>大型コーヒー豆ケース</p>	<p>小型コーヒー豆ケースを 2 つ使用する代わりに大型コーヒー豆ケースを 1 つ使用する場合、左側のグラインダーに合わせて後付けすることができます。</p> <p>大型コーヒー豆ケースの容量 1200 g</p>
	<p>パウダーケース付きパウダーシステム (ツイン)</p>	<p>1 種類または 2 種類のパウダー用パウダーシステム。</p> <p>各パウダーケースの容量 : 700 g / 0.95 l</p>
	<p>パウダーケース付きパウダーシステム</p>	<p>小型パウダーケースを 2 つ使用する代わりに大型パウダーケースを 1 つ使用する場合、左側のパウダーシステムに合わせて後付けすることができます。</p> <p>大型パウダーケースの容量 : 1.4 kg / 2 l</p>

例	オプション	説明
	<p>ミルクポンプ付きフレッシュミルク システム *</p>	<p>(*) この「ミルクポンプ付きフレッシュミルク」システムは現在使用できません。</p> <p>ミルクポンプは左側のパウダーシステムの接続部を使用します。そのため左側のパウダーシステムは使用できません。</p> <p>個別冷却ユニットおよび下付け冷却ユニットの横にも、アンダーカウンター用ミルクのための周辺機器を設置できます。</p>
	<p>脇の飲み物出口 *</p>	<p>(*) この「脇の飲み物出口」システムは現在使用できません。</p> <p>この脇の飲み物出口は、大量のコーヒーを直接ポットに注出するのに用いられます。</p>
	<p>パウダーシステムへの冷水ミキシングバルブ</p>	<p>パウダーシステム付きマシンの場合には、標準としてインスタント飲料用に冷水が混合されます。</p> <p>パウダーシステムのないマシンの場合、ミキシングバルブはオプションとして設定できます。</p> <p>パウダーシステムのないマシンの場合、ミキシングバルブを後付けできます。</p>
	<p>量の多い飲料用抽出加速装置</p>	<p>抽出加速装置は、量の多い飲み物 (例: アメリカン) をさらに効率的にクオリティーも改善して注出することができます。</p>
	<p>飲み物の注出 (ダブル) (オプション「パワーパック」での標準装備)</p>	<p>純コーヒー飲料では、飲み物のダブル注出が可能です。</p> <p>この一対の飲み物の出口は後付けできず、マシン設定の際に選択されます。</p>

例	オプション	説明
	<p>標準ミルク温度用の標準 NcFoamer セット (A)</p>	<p>マシンの仕様にしたがって異なるミルク吸引ノズルを使用する必要があります。</p> <p>下受け冷却ユニット付きマシンでは、長めのホースを使用した NcFoamer が必要です。</p> <p>ミルク吸引ノズルおよびカラーコードに関する詳細な情報は「操作」-「充填と接続」-「ミルク」から確認してください。の章参照。</p>
	<p>高ミルク温度用のオプション NcFoamer セット (B)</p>	<p>下受け冷却ユニット付きマシンでは、長めのホースを使用した NcFoamer が必要です。</p> <p>ミルクとミルク フォームの温度は、このミルク吸引ノズルを使用することによって約 10°C 程上昇します。</p> <p>ミルク吸引ノズルおよびカラーコードに関する詳細な情報は「操作」-「充填と接続」-「ミルク」から確認してください。の章参照。</p>
	<p>カップ下受け高さを減らしたカップ受けを動かす</p>	<p>2 種類のカップ受けを選択できるようになっています。標準カップ受けは 15 mm 程高くなっています。</p> <p>カップ下受けの高さを 15 mm 低くしたカップ受けを後付けすることができます。</p> <p>以下のカップ下受け高さが選択可能です：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カップ受けなし 185 mm</li> <li>• 高めのカップ受け使用 100 mm</li> <li>• 低めのカップ受け使用 85 mm (オプション)</li> </ul>
	<p>カウンター下用コーヒーかす入れ</p>	<p>コーヒーかすコンテナとコーヒーマシンの底には穴が開けられており、ここからコーヒーかすがカウンター下へと排出されます。コーヒーかすはカウンター下の大きなコンテナに集められます。</p> <p>カウンター下用のコーヒーかす入れはマシンを改造をせずに設置できます。</p> <p>カウンター下用のコーヒーかす入れは、オプション「引き出しおよび内蔵型コーヒーかすコンテナを取り付けた下付けユニット」と同様に必要です。</p>
	<p>廃水出口</p>	<p>廃水出口は後付けすることができます。</p>

例	オプション	説明
	廃水タンクのモニタリング	廃水出口の代わりにモニタリング付き外部廃水タンクを使用



詳細情報に関しては、販売パートナーにお問合せください。

## テクニカルデータ

定格出力	SCP	パワーバック **
	2000-2400 W	5500-6300 W

使用温度	スチームボイラー	熱湯ボイラー
最低使用温度 (T min.)	115°C	70°C
最大使用温度 (T max.)	135°C	98°C

過圧	スチームボイラー	熱湯ボイラー
作動過圧	4 bar	16 bar
最大許容使用圧力 (p max.)	16 bar	16 bar
テスト圧	24 bar	24 bar

容量	
水タンク	5.2 l
コーヒー豆ケース、第 1 グライNDER	600 g
コーヒー豆ケース、第 2 グライNDER *	600 g
左側のグラインダーに合わせた大型コーヒー豆ケース *	1x 1200 g
パウダーケース *	1x 1400 g
パウダーケース (ツイン) *	2x 700 g
コーヒーかすコンテナ	コーヒー絞りかす 40 個分

外寸	SCP	パワーバック *
幅	346 mm	346 mm
高さ (最大脚部高さを含む)	570 mm	570 mm
奥行き	518 mm	598 mm

空重量	SCP	パワーバック *
	25 kg	33 kg

等価騒音レベル ***	SCP	パワーバック *
	<70 dB (A)	<70 dB (A)

仕様は変更される場合があります。

- \* オプション
- \*\* 特別仕様については定格銘板を参照してください。記載されている値は標準仕様におけるものです。
- \*\*\* A 特性音圧レベル (遅い動特性) および Lpa (パルス) はいかなる操作モードにおいてもオペレーターの作業場所にて 70 dB (A) を超えないものとします。

## 定格銘板



Designation coffee machine  
 Manufacturer Schaerer AG, Allmendweg 8  
 4528 Zuchwil, Switzerland  
 Typ SCP  
 Serial No. «1115 FT 003»  
 Nominal pressure 1.6 MPa (16 bar)  
 main pressure 0 – 1.0 MPa (0 – 10 bar)  
 Electrical Ratings 2000-2400W  
 220-240V~ 50/60Hz  
 Fuse on-site 10-16A  
 made in Switzerland

定格銘板の例

定格銘板はドアに取り付けられています：

- マシン裏側の電源およびメインスイッチのすぐ下方
- マシン裏側のマシン後面パネルにある飲料水タンクのすぐ後ろ
- ▶ 技術的な問題が発生したり、保証の対象となる場合には、定格銘板に記載されたデータをお伝えください。



シリアルナンバーの上2桁は製造年を、それに続く2桁はカレンダー週を表しています。

## 適合宣言書

### 製造者住所

製造者	ドキュメントの責任者
Schaerer AG (シエラー社) Postfach 336 Allmendweg 8 CH-4528 Zuchwil Tel: +41 (0)32 681 62 00 Fax: +41 (0)32 681 64 04 info@schaerer.com www.schaerer.com	Schaerer AG (シエラー社) Hans-Ulrich Hostettler Postfach Allmendweg 8 CH-4528 Zuchwil

### 適用規格

上記のメーカーは、このマシンが EC 指令に関連する全ての規定に適合していることを宣言します。申し合わせなく装置を改造した場合、この宣言は無効となります。次の整合規格が適用されています。要求事項を適切に処理するために、DEKRA Certification GmbH により SN EN ISO 9001: 2008 の認証を受けた品質マネジメントシステムが適用されます。

本適合宣言の発行に対する責任は、メーカーのみが負います。上記の宣言の対象物は、2011年6月8日の欧州議会および欧州理事会による、電気・電子機器における危険物質の使用規制に関する指令 2011/65/EU の規定に準拠しています。

CE 適合性のため	
機械指令 2006/42/EC	EMC 指令 2004/30/EC
<ul style="list-style-type: none"> <li>• EN 60335-1: 2012</li> <li>• EN 60335-2-75: 2004 +A1 +A11 +A2 +A12</li> <li>• EN 62233: 2008</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• EN 55014-1: 2006</li> <li>• EN 55014-2: 1997 +A1 +A2</li> <li>• EN 61000-3-2: 2014</li> <li>• EN 61000-3-3: 2013</li> </ul>
RoHS 指令 (特定有害物質使用制限指令) 2011/65/EC	

**欧州規則を遵守するために**

- EU 規則 No. 10/2011
- EC 規則 No. 1935/2004
- EC 規則 No. 2023/2006
- WEEE 2012/19/EC

**国際認証 (CB)**

## 安全性

- IEC 60335-1: 2010
- EN 60335-2-75: 2012

## EMC

- CISPR 14-1: 2005
- CISPR 14-2: 1997 +A1:2001 +A2:2008
- IEC 61000-3-2: 2014
- IEC 61000-3-3: 2013

## 取付けと試運転



マシンは現行の連邦政府、国または自治体の電気設備および衛生に関する法規定に従って取り付けてください。これには十分な逆流保護も含まれています。

### 設置

#### 使用場所

**注意！**  
機械のため危険！



マシンの使用場所に対しては、以下の条件が適用されます。これらの条件が満たされない場合、マシンに損傷がおよぶ恐れがあります。

以下の条件を厳守してください：

- コーヒーマシンの重量で変形しないよう、設置面はしっかりとして平らでなければなりません。
- 高温の表面や熱源の近くに設置しないでください。
- 訓練を受けたスタッフによる監視が常に可能なよう、マシンを設置してください。
- 現地の設備図に従い、必要な電源供給口がマシンの設置場所まで 1 m のところまで来るようにします。
- メンテナンスおよび操作のためのスペースを確保してください：
  - コーヒー豆を入れるため、上方向に十分なスペースを空けてください。
  - マシン背部から壁までは少なくとも 5 cm の間隔を空けてください ( 空気循環のため )。
- 現地における現行の調理場規則を守ってください。

#### 気候

**注意！**  
機械のため危険！



マシンの使用場所に対しては、以下の気候条件が適用されます。これらの条件が満たされない場合、マシンに損傷がおよぶ恐れがあります。

以下の条件を厳守してください：

- 周辺温度が +10°C ~ +40°C (50°F ~ 104°F)
- 相対湿度が最高 80%
- 本マシンは室内での使用のみを対象として設計されています。屋外や天候の影響 ( 雨、雪、霜 ) を受ける場所では絶対に使用しないでください！

マシンが氷点下の環境にさらされていた場合：

- ▶ 試運転前にカスタマーサービスに連絡してください。

### 電源供給

#### 条件

電気接続は必ず各国の規定に従って行ってください。定格銘板に記載された電圧と機器設置場所の電源電圧が一致するようにしてください。

**危険！**  
**感電注意！**



### 感電の恐れあり！

必ず以下の項目を厳守してください：

- ・ 位相は必ず定格銘板に記載されたアンペア値を守ってください！
- ・ 機器は必ず全極で電源と切断できるようにしてください。
- ・ 現場の電気システムは、IEC 364 ( DIN VDE 0100 ) に従って設計する必要があります。安全性を高めるには、デバイスの前に、30mAの公称残留電流 ( EN 61008 ) のRCCBを配置する必要があります。( Bタイプの残留電流で動作する回路ブレーカも、滑らかなDC障害電流を提供し、高い安全性を保証します )。
- ・ 絶対に損傷のある電源ケーブルで機器を使用しないでください。損傷した電源ケーブルもしくはプラグは直ちにサービス技術者に依頼して交換してください。
- ・ シェラー社は延長ケーブルの使用を推奨していません！それでも延長ケーブル ( 最小断面積：1.5 mm<sup>2</sup> ) を使用する場合には、ケーブルメーカーの資料 ( 取扱説明書 ) および現地において有効な規定に従ってください。
- ・ 電源ケーブルは人が踏かないように敷設してください。ケーブルは端や尖った角上に敷設したり、挟んだり、室内に吊り下げたりしないでください。また、ケーブルは高温の物体上に載せないようにし、油や攻撃性のある洗剤から保護してください。
- ・ 機器は絶対に電源ケーブルで持ち上げたり引っ張ったりしないでください。電源ケーブルのプラグを決してコンセントから引き抜かないでください。ケーブルもしくはプラグには決して濡れた手で触らないでください！決して濡れたプラグをコンセントに差し込まないでください！

### 電源接続ケーブル

**注意！**  
**使用者のため危険！**



故障した、または非純正の電源接続ケーブルを使用した場合、感電および火災の危険があります！

純正の電源接続ケーブルを使用してください。

- ・ 国別仕様の純正電源接続ケーブルはサービスパートナーを通して入手可能です。
- ・ 両側着脱式の電源接続ケーブルは交換可能です。
- ・ 固定接続された電源ケーブルはサービス技術者が交換してください。

このデバイスには、機能アースとしてアース接続が含まれています。

### 電源条件

SCP					
電源	電源条件			保護 ( 店側 )	接続ケーブルの断面積
*1 L、N、PE (CH)	220 ~ 240 V AC	50/60 Hz	2000-2400 W	10 – 16 A	3 x 1.0 mm <sup>2</sup>
1 L、N、PE	100 V AC	50/60 Hz	1350 W	15 A	3 x 1.5 mm <sup>2</sup> 3 x 16 AWG
1 L、N、PE	110 ~ 120 V AC	50/60 Hz	1800 W	15 A	3 x 1.5 mm <sup>2</sup> 3 x 16 AWG
2L、PE	200 V 2~	50/60 Hz	1800 W	15 A	3 x 1.5 mm <sup>2</sup> 3 x 16 AWG
2L、PE	220 ~ 240 V AC	50/60 Hz	2000-2400 W	10 – 16 A	3 x 1 mm <sup>2</sup>

SCP パワーパック ( オプション )					
電源	電源条件			保護 ( 店側 )	接続ケーブルの断面積
*1L, N, PE (CH)	220 ~ 240 V AC	50/60 Hz	1800-2300 W	10 – 16 A	3 x 1.0 mm <sup>2</sup>
			2800-3300 W	16 A	3 x 1.5 mm <sup>2</sup>
			5500-6300 W	30 A	3 x 4 mm <sup>2</sup>
2L、PE	208 V 極性なし AC	60 Hz	5000 W	2x 30 A	3 x 12 AWG

SCP パワーパック (オプション)					
電源	電源条件			保護 (店側)	接続ケーブルの断面積
2L、PE	208 ~ 240 V 極性なし AC	60 Hz	5000-6200 W	2x 30 A	3 x 12 AWG
仕様は変更される場合があります。 * 記載されている値は標準仕様におけるものです。					

## 水の供給 / 排水

### 条件

**注意!**  
機械のため危険!



悪質な素材および不適切な水値によってマシンに損傷がおよぶ恐れがあります。  
必ず以下の項目を守ってください:

- 水は汚れのない状態で、1ℓ当たりの塩素が 50 mg 未満でなければなりません。
- マシンには浸透水もしくはその他の刺激的水を接続しないでください。
- 炭酸塩硬度は 5 ~ 6°dKH (ドイツ炭酸硬度) (ドイツ炭酸塩硬度) もしくは 8.9 ~ 10.7°fKH (フランス炭酸硬度) (フランス炭酸塩硬度) を上回らず、総硬度は常に炭酸塩硬度を上回らなければなりません。
- 最低炭酸塩硬度は 5°dKH (ドイツ炭酸硬度) もしくは 8.9°fKH (フランス炭酸硬度) となっています。pH 値は 6.5 ~ 7 の間でなければなりません。
- マシンには常に新しい付属のホースセット (水 / 廃水ホース) を使用してください。

水の供給は必ず現行の規定および各国の規定に従って行ってください。マシンを新たに取り付けられた水の供給口に接続する場合、汚れがマシン内に入り込まないように供給口およびインレットホースをしっかりと濯いでください。

マシンは必ず遮断弁の付いた飲料水供給口に接続してください。取り付けられた圧力ホースおよび 3/8" ねじマ付蛇口に取り付けられた減圧器から取付けを行います (0.3 MPa (3 bar) に設定)。

マシンに廃水出口を取り付ける場合、温度安定性のある付属の排水ホースを罩受けとサイホンに取り付けてください。これを排水口にしっかりと固定し、勾配を確保します (廃水が流れ出すように)。



「水質の補足説明書」には、水値の捕捉説明並びにフィルター技術の使用に関する情報が記載されています。補足説明書はシエラー社に請求するか、または MediaCentre のウェブページ (<http://www.schaerer.com/member>) で直接ダウンロードすることができます。

### 水の条件

水圧	推奨:	0.1 ~ 0.6 MPa (1 ~ 6 bar)
	最大:	1 MPa (10 bar)
入口の水溫	最小:	10°C
	最大:	30°C

## 取付け

### マシンの開封



取付け前には「設置」および「電源供給」の章にしっかりと目を通してください!

- ▶ マシンをパッケージから取り出します。

- ▶ パッケージの残りに付属のアクセサリが含まれているか点検します。
- ▶ コーヒーかすコンテナおよび水タンクから付属のアクセサリを取り出します。
- ▶ 返品の可能性に備え、オリジナルのパッケージを保管します。

## 電源接続

### オプション 1: SCP、~ 2 kW, SCP 100 V

- ▶ 電源接続ケーブルの接続部をマシン裏側下部に差し込みます。
- ▶ 設置の際に電源プラグをコンセントに差し込みます。
  - マシンはスイッチを入れる準備ができました。



### オプション 2: SCP、3 kW, SCP 200 V 2~

マシンには工場側で固定ケーブルが取り付けられています。設置場所では、その国で使用されている電源プラグ、または全相で 3 mm 以上離れた接点をもつメインスイッチを介して電源接続が行われます。

- ▶ 設置する際に電源プラグをコンセントに差込む、または事前取付けされているメインスイッチをオンにします。
  - マシンはオンです。
  - メインスクリーンが現れ、加熱が始まります。
  - 必要な温度に達すると、マシンの使用準備が完了します。



### オプション 3: SCP パワーバック、6 kW

マシンには工場側で固定ケーブルが取り付けられています。設置場所では、全相で 3 mm 以上離れた接点をもつメインスイッチを介して電源接続が行われます。

- ▶ アップストリームメインスイッチを切り替えます。
  - マシンはオンです。
  - メインスクリーンが現れ、加熱が始まります。
  - 必要な温度に達すると、マシンの使用準備が完了します。



マシンのスイッチが初めて入れられた場合、自動的にディスプレイにマシン環境設定のための表示が現れます。

## 自動試運転プログラム



初めてスイッチを入れた場合、試運転プログラムが自動的にスタートします。ここで取付けに関するすべての項目が説明されます。



コーヒーマシンのスイッチオンに関する説明は、「操作」 - 「スイッチオン」の章を参照してください。

## 解体と廃棄



マシンは必ず現地の法規制に従い、適切に廃棄してください。

- ▶ サービスパートナーに連絡してください。

## 操作

### スイッチを入れる前の点検

▶ マシンのスイッチを入れる前には以下の条件が満たされているか点検してください。

マシンのスイッチを入れるための条件：

- メイン水バルブ(水道水接続口の)が開いている / 飲料水タンクが新鮮な水で満たされていること。
- 電受は空にされ、正しく挿入されている / 廃水出口は正しく取付けられている / 廃水タンクが接続されていること。
- コーヒー豆ケースは充填されており、ロックが開いていること。
- コーヒーかすコンテナが空であり、正しく挿入されていること。
- マシンが電源に接続されていること。

### スイッチを入れる



図は 2 kW の SCP および取外し可能な電源ケーブルを示す

#### オプション 1: 2 kW の SCP kW

- ▶ マシンに電源ケーブルを差し込みます。
- ▶ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ▶ マシン裏側下部にあるメインスイッチ(電源接続の横)を用いてコーヒーマシンをスイッチオンします。

#### オプション 2: 3 または 6 kW の SCP パワーパック kW

すべての SCP パワーパックには固定されたケーブルが取り付けられています。

- ▶ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



#### オプション 3: スタンバイモードから

- ▶ 操作パネル右側のボタンを短く押します。
  - マシンがスタンバイモードからスタートします。
  - メインスクリーンが現れ、加熱が始まります。
  - 必要な温度に達すると、マシンの使用準備が完了します。

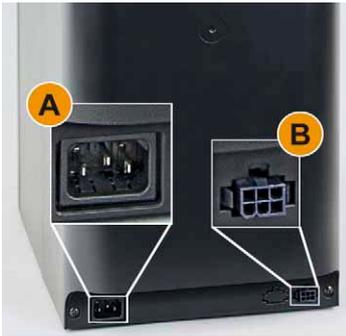


マシンのスイッチが初めて入れられた場合、自動的にディスプレイにマシン環境設定のための表示が現れます。

### オプション 1: 個別冷却ユニット

接続する :

- ▶ 裏側 [A] から別の電源ケーブルで個別冷却ユニットを接続します。
- ▶ 裏側 [B] からレベルモニターを接続します。

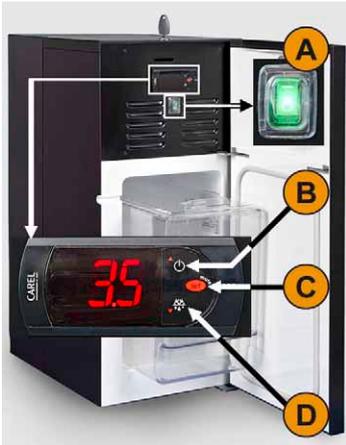


スイッチを入れる :

- ▶ ドアを開きます。
- ▶ トグルスイッチ [A] を [I] の位置に切り替えます。
- ▶ [B] ボタンを ±3 秒押したままにします。
  - 機器はオンになります。

温度設定 :

- ▶ [C] ボタンを現在の温度が点滅するまで押したままにします。
- ▶ [B] ボタンを使って規定温度を高くするかまたは [D] ボタンを使って設定を下げます。
- ▶ [C] ボタンで設定を保存します。
- ▶ ドアを閉じます。



個別冷却ユニットの取扱説明書に注意してください。



「操作」 - 「充填と接続」 - 「ミルク」 - 「オプション: 個別冷却ユニット」。の章参照。

### オプション 2: 下受け冷却ユニット

接続する :

- ▶ 裏側から個別の電源ケーブルで下付け冷却ユニットを接続します。

スイッチを入れる :

- ▶ ドアを開きます。
- ▶ 上部裏面のトグルスイッチをオンにします。
  - スイッチが緑色に点灯します。

温度設定 :

- 温度は工場側で設定してあります。
- 温度調節のためにサーモスタット (A) は裏側に取り付けられています。
- ▶ ドアを再び閉じます。



下付けユニットの取扱説明書に注意してください。

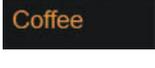
## メイン画面のタッチスクリーン

### 概要

ディスプレイのメイン画面 :



マシンのステータスに応じてマークがメイン画面に表示されます。

マーク	説明
飲み物タブ 	<p>使用可能な飲み物タブは 5 種類あります。各タブにはそれぞれ 8 つの飲み物を登録することができます。</p> <p>飲み物タブにはサービス技術者により、任意の名前をつけて任意に配置することが可能です。</p>
飲み物ボタン 	<p>各飲み物ボタンには任意の飲み物を登録し、それに合わせてプログラムすることができます。</p> <p>飲み物ボタンを押すことで、該当の飲み物が注出されます。</p> <p>飲み物ボタンにはサービス技術者が任意の名前をつけて任意に配置することが可能です。</p>
ストップ 	<p>[ ストップ ] ボタンは飲み物注出中にのみ表示されます。現在注出されている飲み物、そしてプレ選択されている飲み物をこれによって削除することができます。</p>
サービスメニュー 	<p>サービスメニューが開きます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ [ サービスメニュー ] ボタンを押します。</li> <li>☑ サービスメニューの画面が開きます。</li> </ul> <p>「メニューサービス」には以下の直接選択できる機能があります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ミルクシステムのスイッチ オン / オフ ( ミルクシステムが作動している場合のみ )</li> <li>• クイックインフォ画面のスイッチ オン / オフ。</li> <li>• 「スタンバイ」モードを有効にする。</li> <li>• サービスドアを開く。</li> </ul> <p>他のすべての機能は、サービス技術者が有効にすることができるユーザープロフィールに割り当てられます。</p> <p>利用可能なプロフィールに関する詳細情報については、「プログラミング」の章を参照してください。の章参照。</p>

マーク	説明
<p>インフォメーション</p> 	<p>[ インフォメーション ] ボタンは、エラーが存在する場合やマシンを継続して使用するために使用者もしくはサービス技術者による介入が必要な場合にのみ表示されます。</p> <p>「障害の除去」の章参照。</p>
<p>加熱</p> 	<p>日付表示下の小さな炎マーク (矢印) は、マシンが加熱されている場合のみ表示されます。このプロセス中は飲み物を注出することはできず、情報画面が表示されます。</p>
<p>DECAF</p> 	<p>カフェインフリーの飲み物 (DECAF 飲み物) を商品として扱うための条件は、グラインダーが 2 つ取り付けられており、そのうちのひとつがカフェインフリーのコーヒー豆に当てられていることです。</p> <p>[DECAF] ボタンにより、カフェインフリーのコーヒー豆が入っているグラインダーを選択することができます。その後は任意のコーヒー飲料を選択するだけで、カフェインフリーのコーヒー飲料が準備されます。</p> <p>[DECAF] ボタンはサービス技術者もしくは管理担当者によってのみプログラム可能です。</p>
<p>バリスタ</p> 	<p>バリスタ ボタンで注出する飲み物の濃度を変化させることができます。飲み物の注出後、バリスタ ボタンは標準設定の「中」に戻ります。</p> <p>[バリスタ] ボタンは必ずサービス技術者もしくは管理担当によってプログラムしてもらってください。</p>
<p>加熱すぎ</p> 	<p>[ 加熱すぎ ] ボタンを押すと、長期間飲み物が抽出されていなかったシステムを加熱するために手動でのすすぎが可能となります。これによって、最適なコーヒー温度が実現します。</p> <p>[ 加熱すぎ ] ボタンは必ずサービス技術者もしくは管理担当によってプログラムしてもらってください。</p>
<p>中断</p> 	<p>「エキスパート モード クリーニング」の画面では、以下の操作ボタンを使用することができます：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ 中断 ] ボタンは予定されているクリーニングを中断します。しかしクリーニングはいまだに未処理のままです。</li> </ul>
<p>ストップ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ ストップ ] ボタンは「エキスパート モード」を中断し、標準ウィザードをスタートします。</li> <li>• [ 開く ] ボタンは、クリーニング準備中にサービスドアのロックを解除することができます。</li> </ul>
<p>開く</p> 	<p>エキスパート モードでクリーニングをスタートするには、「システム」 - 「クリーニング」メニューで「エキスパート モード クリーニング」パラメーターを有効にしておきます。</p>

操作パネル右側のボタン：

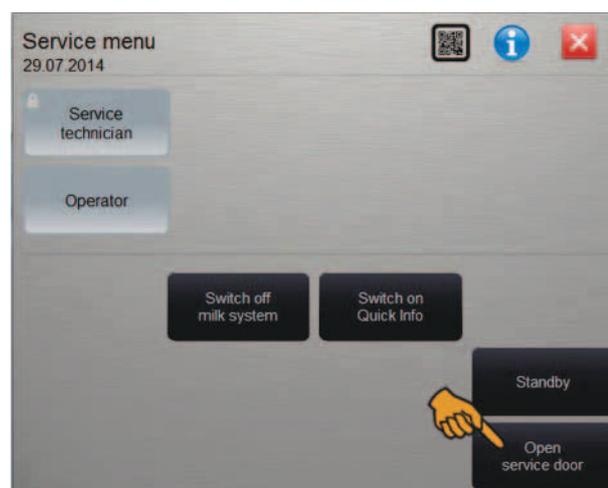
ボタン	説明
	<p>操作パネル右側のボタンには以下の機能があります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスドアを開く。</li> <li>サービスメニューを開く。</li> <li>スタンバイモードを終了する。</li> </ul> <p>マシンが操作可能状態の場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボタンを短く押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> サービスドアが開きます。</li> </ul> </li> <li>▶ ボタンを少し長く、&lt;6 秒押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 「サービスメニュー」が開きます。</li> </ul> </li> </ul> <p>「サービス - メンテナンス」 - 「ディスプレイの校正」。の章参照。</p> <p>マシンがスタンバイモードの場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ボタンを短く押します。 <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> マシンが操作可能状態に移ります。</li> </ul> </li> </ul>

## マシンのサービスドアを開く

### オプション 1: 「サービスメニュー」から



- ▶ タッチスクリーン上の [サービスメニュー] ボタンを押します (図を参照)。
  - サービスメニューが現れます。



- ▶ [サービスドアを開く] ボタンを押します。
  - サービスドアが開きます。

### オプション 2: 操作パネルの右側のボタンから

マシンが操作可能状態の場合：

- ▶ ボタン (操作パネル右側) を短く押します。
  - サービスドアが開きます。

マシンが「スタンバイ」モードの場合：

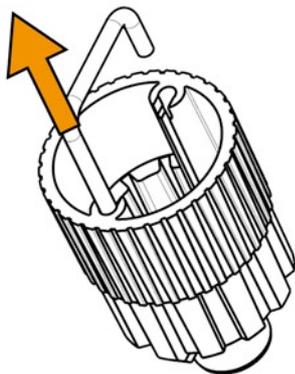
- ▶ ボタン (操作パネル右側) を短く押します。
  - マシンが操作可能状態に移ります。
- ▶ ボタン (操作パネル右側) をもう一度短く押します。
  - サービスドアが開きます。



**オプション 3: マルチツールで**

マシンはオフになっている状態:

- ▶ マルチツールから L 形ピンを引き出します。



- ▶ 長い方の L 形ピンの端を右の扉開口部に水平に差し込みます。  
☑ ロックを軽く押して、扉を開きます。

**操作エレメントの表示**

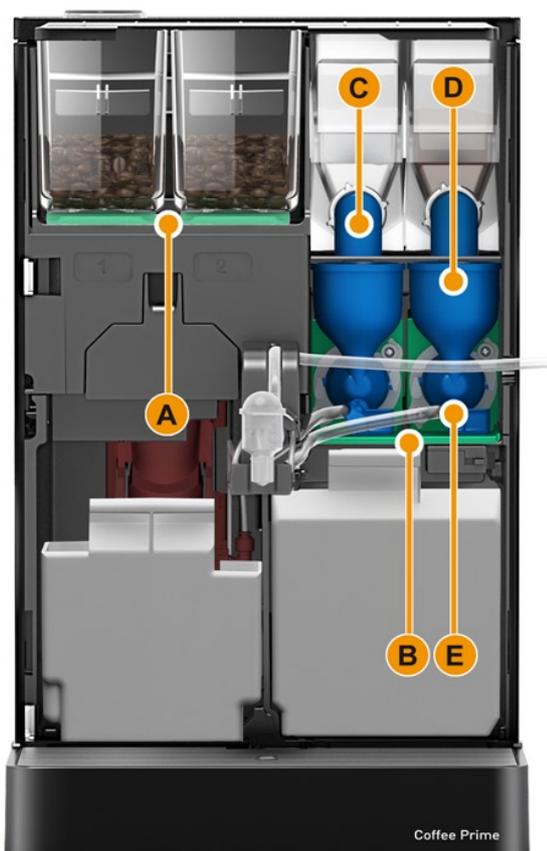
操作可能なマシンエレメントは色で強調されています。

緑の操作エレメント:

- (A) 左右のコーヒー豆ケースのスライド、ロック付き (オプション)。
- (B) パウダーシステム供給口のスライド装置 (オプション)

青のマシンエレメントは充填の際に調整でき、クリーニングの際には取り外すことができます:

- (C) 左右のパウダー供給曲り管 (オプション)。
- (D) 左右のミキサーカップ (オプション)。
- (E) 左右のホースワンタッチコネクター (オプション)。



## 充填と接続



補充する際には特に、タンクの中身がタンクのカバーに触れないくらいを限度としてください。

### コーヒー豆

**注意！**  
使用者のため危険！



グラインダーの回転刃によって怪我をする恐れがあります。  
絶対にマシンのスイッチが入った状態でコーヒー豆ケースに手を入れないでください。

**注意！**  
機械のため危険！



異物が入り込むことで、グラインダーの目詰まりやグラインダー装置の破損につながる恐れがあります！  
コーヒー豆ケースには絶対にコーヒー豆以外の物を入れないでください。



後から補充されたコーヒー豆が閉じられたコーヒー豆ケースのカバーに触れないように注意してください！

- ▶ マシンのサービスドアを開きます。



「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。



- ▶ マシンのヒンジカバーを持ち上げ開きます。

#### オプション 1: 小型コーヒー豆ケース

- ▶ コーヒー豆ケースのロック用スライド (A) を止まるまで引き出します。
  - ☑ コーヒー豆ケースのロックが外れ、同時にスライドによって閉じます。
- ▶ ロックが解除されたコーヒー豆ケースをマシンから持ち上げます。
- ▶ コーヒー豆をケースごとに入れます (最大 600 g)。
- ▶ コーヒー豆ケースを再び載せます。
- ▶ ロック用スライドを押し入れます。
  - ☑ これで、コーヒー豆ケースは再びロックがかかり、開きます。

#### オプション 2: 大型コーヒー豆ケース

- ▶ コーヒー豆を入れます (最大 1200 g)。
- ▶ マシンのカバーを再び閉じます。
- ▶ サービスドアを閉めます。

## 水

- ▶ マシンのサービスドアを開きます。



「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。

#### オプション 1: 内部 / 外部の飲料水タンク

- ▶ 飲料水タンクは毎日清潔な水で丁寧にすすぎ流してください。
- ▶ 飲料水タンクのカバーを清潔な水で何回も洗浄します。
- ▶ 使用前に飲料水タンクに新鮮な飲料水を入れます。
- ▶ 飲料水タンクを再び取り付けます。



補充された飲料水が閉じられた飲料水タンクの蓋に触れないように注意してください！

#### オプション 2: 水道水接続

ポンプの空運転により、マシンに損傷がおよぶ恐れがあります。  
マシンのスイッチを入れる前には、必ずメイン水バルブが開いていることを確認してください。

- ▶ メイン水バルブの栓を開けます。



保証規定より、毎日営業終了後にはメイン水バルブを閉めるよう推奨されています。

## マシン用パウダー (オプション)

回転するスクリュードライブによって怪我をする恐れがあります！  
絶対に装置のスイッチが入った状態でパウダーケースに手を入れないでください。

**注意！**  
機械のため危険！



**注意！**  
使用者のため危険！



**注意！**  
機械のため危険！



許可されていないパウダーの投入により、目詰まりを起こす恐れがあります！  
絶対にマシン用パウダー以外の物はパウダーケースに入れないでください。



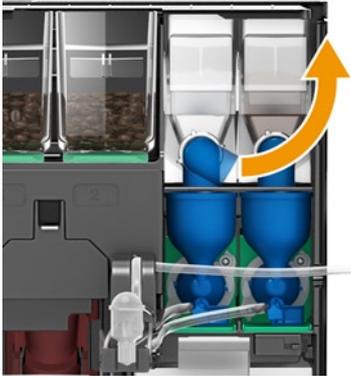
補充されたチョコパウダーが閉じたパウダーケースの蓋に触れないように注意してください!

- ▶ マシンのサービスドアを開きます。



「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。

- ▶ マシンのカバーを折り上げてたたむことで開きます。
- ▶ パウダー供給曲り管を 90° 上方へ回してください。
  - ☑ マシンへのパウダーの供給が妨害されます。
- ▶ パウダーケースを前方に少し持ち上げ、マシンから取り外します。



#### オプション 1: チョコ

- ▶ 任意のチョコパウダーを入れます。
  - ☑ 小さなパウダーケース、最大 700 g。
  - ☑ 大きなパウダーケース、最大 1400 g。
- ▶ パウダーケースを再びマシンに取り付けます。
- ▶ パウダー供給角度を再び供給位置まで戻します。

#### オプション 2: トッピング

- ▶ 任意のミルクパウダーを入れます。
  - ☑ 小さなパウダーケース 最高 700 g。
  - ☑ 大きなパウダーケース 最高 1400 g。
- ▶ パウダーケースを再びマシンに取り付けます。
- ▶ パウダー供給角度を再び供給位置まで戻します。
- ▶ マシンのカバーを再び閉じます。
- ▶ サービスドアを閉めます。

### ミルク (オプション)

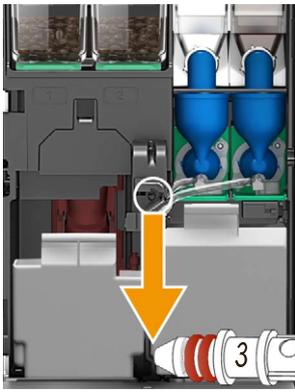
NcFoamer セット (使い捨てフォーマーヘッド式) は以下のパーツから構成されています:

- 使い捨てフォーマーヘッド
- ミルクホース
- ミルク吸引ノズル (カバーパネル)、カラーコード付き



飲み物を注出中の目標ミルク温度は、異なる NcFoamer セットを使用することによって達成されます。スチームボイラーの設定温度は 130°C です。サービス技術者が必要に応じて調節します。

以下に挙げる NcFoamer セットを使用できるかどうかは、マシンの仕様およびスチームノズルによって決まります：

NcFoamer のカラーコード一覧		スチームボイラー容量		
		SCP 1.35 kW	SCPP 2 kW	SCPP 3 kW
	スチームノズルの分類コード	1	2	3
	スチームノズルのノズル直径	Ø 1.38 mm	Ø 2.00 mm	Ø 2.32 mm
	スチームノズルの製品番号	072611	073083	073084
標準ミルク温度仕様 (*)				
	標準 NcFoamer セット 575 mm (50 個入りスペアパーツのパッケージ)	オレンジ Ø 1.15 mm 072708	紫 Ø 1.35 mm 072467	青 Ø 1.45 mm 072469
	UC*** NcFoamer セット 750 mm (50 個入りスペアパーツのパッケージ)	オレンジ Ø 1.15 mm 073014	紫 Ø 1.35 mm 072466	青 Ø 1.45 mm 072468
高温ミルク温度仕様 (**)				
	標準 NcFoamer セット 575 mm (50 個入りスペアパーツのパッケージ)	黄 Ø 1.05 mm 072998	赤 Ø 1.25 mm 072465	紫 Ø 1.35 mm 072467
	UC*** NcFoamer セット 750 mm (50 個入りスペアパーツのパッケージ)	黄 Ø 1.05 mm 073047	赤 Ø 1.25 mm 072464	紫 Ø 1.35 mm 072466
(*) 約 5°C に冷却したミルクを使った場合の温度				
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ミルク注出温度は約 49°C</li> <li>• ミルク フォーム注出温度は約 59°C</li> </ul>				
(**) 約 5°C に冷却したミルクを使った場合の温度				
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ミルク注出温度は約 59°C</li> <li>• ミルク フォーム注出温度は約 69°C</li> </ul>				
(***) UC = アンダーカウンターミルク				

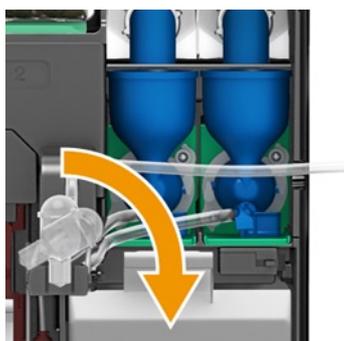
- ▶ サービスドアを開く



「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。

- ▶ ミルクホースをガイドから外します。





- ▶ NcFoamer を 90° 右に回し、前方に引きスチームノズルから外します。
- ▶ 新しい NcFoamer をスチームノズルに差し込みます。カラーコードに注意してください (上記説明を参照してください)。
- ▶ 新しい NcFoamer を 90° 左にカチッと止まるまで回します。
- ▶ ミルク吸引ノズルの付いたミルクホースを右方向にマシンから出します。
- ▶ サービスドアを閉めます。

### オプション 1: ミルク スマート



ミルクパックと飲み物の出口の高さの差が 40 cm を超えないようにしてください。

- ▶ あらかじめ冷やされた新鮮なミルク (3 ~ 5°C) を用意します。
- ▶ ホースをミルクに浸けます。
  - ☑ ホースの末端が必ずコンテナの底に当たるようにしてください。



「安全に関する注意事項」 - 「衛生面」 - 「ミルク」の章を参照。

### オプション 2: 個別冷却ユニット



冷却温度が 3 ~ 5°C が定期的に点検してください。



「安全に関する注意事項」 - 「衛生面規則」 - 「ミルク」の章を参照。

- ▶ ドアを開きます。
- ▶ ディスプレイに表示された冷却温度を確認します。
- ▶ ミルクコンテナを外し、すすぎを行います。
- ▶ あらかじめ冷やされた (3 ~ 5°C) 新鮮なミルクを入れます。



補充されたミルクが閉じられたミルクコンテナカバーに触れないように注意してください!

- ▶ ミルクコンテナを冷却ユニット内に配置します。
- ▶ ホースをコンテナに掛けます。
  - ☑ ホースの末端が必ずコンテナの底に当たるようにしてください。
- ▶ ドアを閉めます。

### オプション 3: 下受け冷却ユニット

- ▶ ドアを開きます。
- ▶ ミルクコンテナを外し、すすぎを行います。
- ▶ あらかじめ冷やされた (3 ~ 5°C) 新鮮なミルクを入れます。



補充されたミルクが閉じられたミルクコンテナのカバーに触れないように注意してください!

- ▶ ミルクコンテナを冷却ユニット内に配置します。
- ▶ ホースをコンテナに掛けます。
  - ☑ ホースの末端が必ずコンテナの底に当たるようにしてください。

- ▶ ドアを閉めます。

## 商品の引渡し

### カップ受けの調整



ラテマキアートグラスのような大きいカップの場合は、可動式のカップ受けを右にスライドさせる必要があります：

- ▶ カップ受けを手で右に動かし、カチッとはめます。
- ▶ 雫受けのカップ受けにカップを配置します。

### 飲み物

- ▶ 飲み物の出口にカップを配置します。
- ▶ 任意の飲み物ボタンを押します。
  - 飲み物の注出状況がメインスクリーンに表示されます。
- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。

**注意！**  
高温液体に注意！



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の作成を中断することができます。の章参照。

### 飲み物（ダブル）（オプション）

飲み物の注出（ダブル）、純コーヒー飲料。飲み物の注出（ダブル）を行う場合には、カップがグラスを飲み物の出口に配置してください。



- ▶ カップ受けの角度を調整します。
- ▶ カップ受けにカップを配置し、飲み物の出口に合わせて調節します。
- ▶ 任意の飲み物ボタンを押します。
  - 飲み物の注出状況がディスプレイに表示されます。
- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。

### ポットへのコーヒー注出\*（オプション）

(\*）この機能は現在使用できません。

大量のコーヒーを直接ポットに注出：

- ▶ 脇の飲み物出口を引き出します。
  - 設定された飲み物ボタンが操作可能になります。
- ▶ 脇の飲み物出口にポットを配置します。
- ▶ 飲み物ボタンを選択します。
  - 飲み物設定にしたがって注出が行われます。



飲み物設定および注出コーヒー量に応じて、飲み物ボタンを数回選択して異なる注出を行うことができます。

- ▶ ポットを外し、脇の飲み物出口を再びマシンに回転して入れます。

☑ デイスプレイの飲み物ボタンが再びオフになります。

## 熱湯

注意！  
高温液体に注意！



- ▶ 飲み物の出口にカップを配置します。
- ▶ [熱湯] ボタンを押します (図を参照)。
  - ☑ 飲み物の注出状況がディスプレイに表示されます。
- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の注出を中断することが説明され、「商品の注出オプション」 - 「商品の注出モード」で他の可能な注出方法が説明されません。の章参照。

## 冷水\* (オプション)

(\* ) この機能は現在使用できません。

注意！  
高温液体に注意！



- ▶ 飲み物の出口にカップを配置します。
- ▶ [冷水] ボタンを押します (図を参照)。
  - ☑ 飲み物の注出状況がディスプレイに表示されます。
- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の注出を中断することが説明され、「商品の注出オプション」 - 「商品の注出モード」で他の可能な注出方法が説明されません。の章参照。

## ホットミルク (オプション)

注意！  
高温液体に注意！



- ▶ 飲み物の出口にカップを配置します。
- ▶ [ホットミルク] ボタンを押します (図を参照)。
  - ☑ 飲み物の注出状況がディスプレイに表示されます。
- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の注出を中断することが説明され、「商品の注出オプション」 - 「商品の注出モード」で他の可能な注出方法が説明されません。の章参照。

## ミルクフォーム (オプション)

注意！  
高温液体に注意！



- ▶ 飲み物の出口にカップを配置します。
- ▶ [ミルクフォーム] ボタンを押します (図を参照)。
  - ☑ 飲み物の注出状況がディスプレイに表示されます。
- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の注出を中断することが説明され、「商品の注出オプション」 - 「商品の注出モード」で他の可能な注出方法が説明されません。の章参照。

## 商品の引渡しオプション

### 注出モード

飲み物の注出モードは設定可能で、レシピなしの飲み物に対して可能です。

飲み物設定にしたがって以下の注出モードを使用することができます。

- 計量 = あらかじめ設定された量が注出されます。
- 押し続け = 飲み物ボタンを押している間注出します。
- スタート / ストップ = 飲み物ボタンを短く押すことで注出が行われます。飲み物ボタンを再び押すと注出がストップします。

### 作動中の商品の引渡しを中断

飲み物と熱湯の注出はいつでもストップすることができます。

- ▶  ボタンを押します。
  - 現在の商品がストップされます。

他の飲み物がプレ選択されている場合、 ボタンを押してこれをまず削除します。この場合、現在の商品をストップするにはこのボタンを2回押す必要があります。

### プレ選択

飲み物を注出している間にも、次に注出する飲み物を選択することができます。最大4つの飲み物をプレ選択することができます。

- ▶ 飲み物の出口にカップを配置します。
- ▶ 任意の飲み物ボタンを押します。
  - プレ選択された飲み物は注出される順番通りメインスクリーンに表示されます。

プレ選択された飲み物はいつでも削除可能です：

- ▶ Feld  \$\$\$ ボタンを押します。
  - プレ選択されたすべての飲み物が削除されます。

### [DECAF] ボタン

DECAF 飲み物 (カフェインフリーの飲み物) を商品として扱うための条件は、グラインダーが2つ取り付けられており、そのうちのひとつがカフェインフリーのコーヒー豆に当てられていることです。[DECAF] ボタンは必ずサービス技術者もしくは管理担当者によってプログラムしてもらってください。

- ▶ 飲み物の出口にカップを配置します。
- ▶ [DECAF] ボタンを押します。



注意！  
高温液体に注意！



- ▶ 任意の飲み物ボタンを押します。
  - 飲み物の注出状況がメインスクリーンに表示されます。



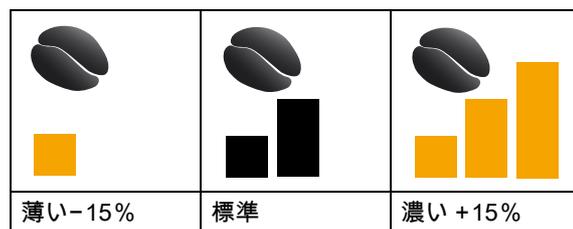
- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の作成を中断することができます。の章参照。

## コーヒーの濃度を選択

バリスタ ボタンで注出する飲み物の濃度を変化させることができます。飲み物の注出後、バリスタ ボタンは標準設定の「中」に戻ります。[バリスタ] ボタンは必ずサービス技術者もしくは管理担当者によってプログラムしてもらってください。



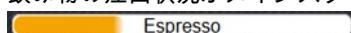
- ▶ 任意の濃度になるまで [バリスタ] ボタンを押し続けます (表を参照)。



**注意!**  
高温液体に注意!



- ▶ 任意の飲み物ボタンを押します。  
 飲み物の注出状況がメインスクリーンに表示されます。



- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の作成を中断することができます。の章参照。

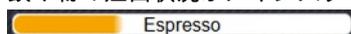
## [加熱すぎ] ボタン

[加熱すぎ] ボタンを押すと、長期間飲み物が抽出されていなかったシステムを加熱するために、手動ですすぎを行うことができます。

**注意!**  
高温液体に注意!



- ▶ [加熱すぎ] ボタンを押す  
 システムは熱湯で洗浄され、予熱されます。
- ▶ すすぎ終了後、飲み物の出口にカップを置きます。
- ▶ 任意の飲み物ボタンを押します。  
 飲み物の注出状況がメインスクリーンに表示されます。



- ▶ 飲み物が入れた後、カップを動かします。



「商品の注出オプション」 - 「商品の注出を中断」で飲み物の作成を中断することができます。の章参照。

## 空にする

### コーヒーかすコンテナ

- ▶ マシンのサービスドアを開きます。

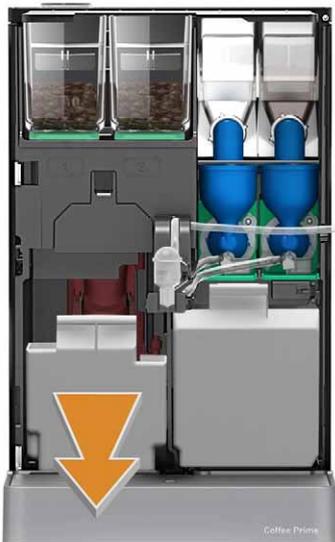


「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。

**注意!**  
機械のため危険!



高温により損傷する恐れがあります。  
コーヒーかすコンテナは食器洗浄機で洗浄しないでください。



**オプション 1: コーヒーかすコンテナ**

コーヒーかすコンテナはディスプレイに該当の指示が出されると空にする必要がありますが、最低 1 日に 1 回は空にしてください。

- ▶ コーヒーかすコンテナを取り外し、空にします。
  - ☑ コーヒーかすコンテナが取り外されている間は飲み物を注出することができません。
- ▶ コーヒーかすコンテナを再び取り付けます。
- ▶ サービスドアを閉めます。

**オプション 2: 下付けユニットのコーヒーかす引き出し (オプション)**

**注意!**  
機械のため危険!

下付けユニットのコーヒーかすコンテナ内蔵の、オプション引き出しはモニタリングされません。溢れる危険があります。マシンの使用頻度にしたがってコーヒーかすコンテナを点検してください。

**注意!**  
機械のため危険!

コーヒーかすコンテナ内蔵の、オプション引き出しはモニタリングされません。コーヒーかすコンテナがなくても飲み物の選択はできます。コーヒーかすコンテナを空にしている間は、飲み物の注出はできないようにしてください。

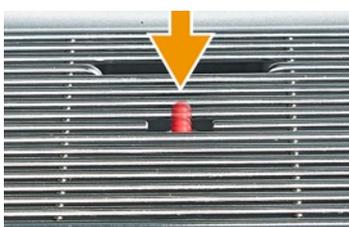


- ▶ 下付けユニットの引き出しを開きます。
- ▶ コーヒーかすコンテナを取り外し、空にします。
- ▶ コーヒーかすコンテナを再び取り付けます。
- ▶ 引き出しを再び閉じます。

**廃水**

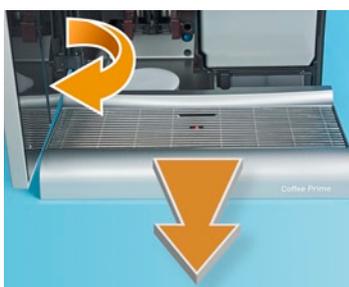
**注意!**  
機械のため危険!

高温により損傷する恐れがあります。掣受けは食器洗浄機で洗浄しないでください。



**オプション 1: 「内蔵」掣受け**

フロートが表示された場合、またはそうでなくても最低 1 日に 1 回は掣受けを空にします。



- ▶ マシンのサービスドアを開きます。



「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。

- ▶ コーヒーかすコンテナを外します。
- ▶ 雫受けを引き出します。
- ▶ 雫受けを空にして洗い流し、再び取り付けます。
- ▶ コーヒーかすコンテナを再び取り付けます。
- ▶ サービスドアを閉めます。

#### オプション 2: 雫受けモニター

ディスプレイにメッセージ「雫受けを空にしてください」が表示されます。

- ▶ 雫受けを引き出します。
- ▶ 雫受けを空にして洗い流し、再び取り付けます。



### 廃水タンク (オプション)

外部廃水タンク付きマシンでは、廃水タンクを定期的に空にする必要があります。最低でもディスプレイに空にするようにとの要求が表示された場合には、これを行ってください。

- ▶ 廃水タンクを取り外し、空にします。
- ▶ 廃水タンクを家庭用洗剤で丁寧に洗浄し、清潔な水で洗い流します。
- ▶ 廃水タンクを再び取り付けます。

### 輸送条件

**注意!**  
使用者のため危険!



コーヒーマシンを不適切に輸送することで、負傷する恐れがあります。健康および安全に関する一般的規定に注意してください。

- ▶ マシンの設置場所を変更する前には、必ず事前に飲料水の供給源と電源、そして廃水出口を外してください。
- ▶ また、設置場所を変更する前には、新たな設置場所に障害物や起伏がないかどうか点検してください。

**注意!**  
機械のため危険!



不適切な輸送により、マシンに損傷がおよぶ恐れがあります。ワゴンにてマシンの設置場所を変更する場合、以下の項目を厳守してください:

- 設置場所変更の際、安全上の理由からワゴンは押すのではなく引いてください。
- 必ずワゴンのみを引き、決してマシンを引っ張らないでください。
- ワゴンは貨物の輸送には適していません。



ワゴンの用途に反する使用もしくは取扱説明書を無視した使用に起因する損傷に対し、メーカーは一切の責任を負わないものとします。

## スタンバイ



省エネのため、コーヒーマシンをスタンバイモードに切り換えることができます：

- ▶ タッチスクリーン上で [ サービスメニュー ] ボタン ( 図を参照 ) を押します。
  - ☑ 「サービスメニュー」が表示されます。
- ▶ [ スタンバイ ] ボタンを押します。
  - ☑ マシンがスタンバイに切り替わります。

マシンをスタンバイから元に戻すには：

- ▶  操作パネル右側の <tag> スイッチを押します。
  - ☑ スチームボイラーが使用温度に到達してから、自動システム洗浄が実行されます ( システムパラメーター「スイッチオン洗浄」がオンの場合のみ )。
  - ☑ メインスクリーンが現れ、マシンの準備が完了します。

## スイッチを切る

### 作業の終了

- ▶ マシンのクリーニングを行います。
- ▶ 飲料水タンクを空にして洗浄し、再び取り付けます。
- ▶ コーヒーかすコンテナを空にして洗浄し、再び取り付けます。



「クリーニング後スイッチオフする」パラメーターが作動している場合、クリーニングが終了するとマシンのスイッチが自動的に切れます。

- ▶ マシン裏側下部にあるメインスイッチを用いてコーヒーマシンをスイッチオフします。
  - ☑ マシンには電源が通っていない状態となります。



これらを無視すると、損傷が発生した場合でも一切の保証が認められません。

### 長時間にわたる使用停止 (1 週間以上)



例えば休業期間のように長時間使用しない場合には、コーヒーマシンおよびその他の付属装置を完全に停止させてください。

- ▶ 「作業を終了する」の章に記載されているすべての手順を実行します。

マシンを氷点下の環境にて使用している場合、ボイラーをまず空にします：

- ▶ サービスパートナーに連絡してください。

**注意！**  
機械のため危険！



凍結した水が加熱され膨張することによってボイラーが損傷する恐れがあります。氷点下になる恐れのある室内においては、必ずボイラーを空にしてください。



再び試運転を行う際には、まず日課のクリーニングを実行してください。

# クリーニング

## クリーニング間隔

クリーニング間隔							
2日に1度のディスプレイ操作自動	2日に1回手動	毎回の充填前	スイッチを入れる前	スイッチを切る前	要求が出されてから	必要であれば	
自動クリーニング							
X					X	マシンの自動クリーニング	
			X			スイッチオン洗浄	
				X		スイッチ オフ後のすすぎ	
手動クリーニング							
X					X	コーヒーかすコンテナを空にしてクリーニング	
		X				飲料水タンクのすすぎを行う	
X					X	X	雫受けを空にしてクリーニング
						X	コーヒー豆ケースのクリーニング
						X	抽出ユニットのすすぎを行う
	X					X	タッチスクリーンのクリーニング
	X					X	コーヒーマシン外側のクリーニング
周辺機器 / オプション							
	X						NcFoamer (使い捨てフォーマーヘッド式) の交換
						X	パウダーケースのすすぎを行う
X	X						ミキサーカップのすすぎを行う
	X						ミルクコンテナのすすぎを行う (NcFoamer を交換するのに合わせて常にクリーニング)
	X						個別冷却ユニット内側のクリーニング
	X					X	個別冷却ユニット外側のクリーニング
						X	廃水タンクのすすぎを行う
説明							
2日に1度のディスプレイ操作自動					実施は2日に1回。 クリーニングステップ手動選択によるディスプレイ操作のマシン自動クリーニング		
2日に1回手動					実施は2日に1回。 ディスプレイメッセージの無いマシン手動クリーニング		
毎回の充填前:					タンク/コンテナの毎回の充填前に行うこと。		
スイッチを切る前:					コーヒーマシンのスイッチを切る際に自動的に行われます。		
要求が出されてから:					ディスプレイに該当の要求が表示されます。		
必要であれば:					明らかにクリーニングが必要な場合。		

**注意！**  
**使用者のため危険！**



推奨されるクリーニング間隔およびクリーニング基準を遵守しないと、結果としてミルクの残りや細菌につながります。それにより、ミルクおよび NcFoamer が汚染される恐れがあります。

マシンのクリーニングは、少なくとも 2 日に 1 回実行する必要があります。

## 自動スイッチオン / オフのすすぎ

**注意！**  
**高温液体に注意！**



スイッチオンまたはオフ後のすすぎはサービス技術者によって作動させる必要があります。この場合、マシン電源オンの後に行うスイッチオン後のすすぎ、およびマシンが完全停止する前のスイッチオフ後のすすぎが自動的に行われます。



スイッチオン / オフ後の自動すすぎには約 20 秒かかります。

## 毎回の充填前

### 内部の飲料水タンク

**注意！**  
**使用者のため危険！**



残りかすや細菌により飲料水が汚染される恐れがあります。毎回の充填前に飲料水タンクのクリーニングを行います。

**注意！**  
**機械のため危険！**



高温の場合、損傷につながる恐れがあります。飲料水タンクは食器洗浄機で洗浄しないでください。

- ▶ 飲料水タンクは清潔な水で丁寧に何回も洗い流してください。
- ▶ 飲料水タンクのカバーを清潔な水で何回も丁寧に洗浄します。
- ▶ その後、使用していない布で拭き取ってください。
- ▶ 飲料水タンクに再び新鮮な水を入れてください。
- ▶ 飲料水タンクをマシンに取り付けます。



オプションの水道水接続をするマシンに関しては、「クリーニング」 - 「週に一度の手動での手入れ」の章を参照してください。の章参照。

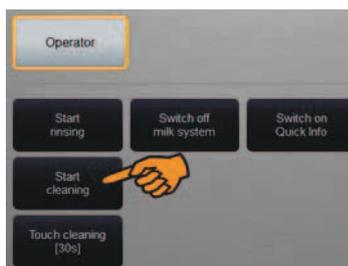
## マシンの自動クリーニング開始

タッチスクリーン上でクリーニング プログラムがスタートします。使用者が行う操作がタッチスクリーン上に指示されます。

- ▶ タッチスクリーン上の [ サービスメニュー ] ボタンを押します ( 図を参照 )。
  - 「サービスメニュー」が表示されます。



- ▶ [ クリーニング スタート ] ボタンを押します ( 図を参照 )。
  - クリーニングが開始されます。
  - 必要なステップはすべてタッチスクリーン上に指示されます。





- ▶ 操作パネル右側のボタンを短く押します。  
☑ サービスドアが開きます。
- ▶ 継続用の  ボタンを選択します。

## クリーニングは2日に1回自動で

### コーヒーかすコンテナ

**注意!**  
使用者のため危険!



コーヒーかすコンテナのコーヒーかすによってカビが発生する恐れがあります。マシン内にカビ胞子が繁殖すると、コーヒーが汚染される恐れがあります。このためコーヒーかすコンテナは指示が出された後または2日に1回洗浄してください。

**注意!**  
機械のため危険!



高温により損傷する恐れがあります。  
コーヒーかすコンテナは食器洗浄機で洗浄しないでください。

- ▶ コーヒーかすコンテナをマシンから取り外し、空にします。
- ▶ コーヒーかすコンテナを水で丁寧に洗浄します。
- ▶ マシン内部をブラシで洗浄します。
- ▶ コーヒーかすコンテナを再び取り付けます。



クリーニングプログラムの場合、マシンにコーヒーかすコンテナを取り付ける指示がディスプレイに表示されるのを待ちます。

### 雫受け

**注意!**  
機械のため危険!



高温の場合、損傷につながる恐れがあります。  
雫受けは食器洗浄機で洗浄しないでください。



- ▶ 雫受けをマシンから引き抜きます。
- ▶ 雫受けとドリップトレイを水および家庭用洗剤で丁寧に洗浄します。
- ▶ 流水ですすぎ、清潔な布で拭いて乾かします。
- ▶ 雫受けを再び取り付けます。

### コーヒーマシンのクリーニング剤



コーヒーマシン用クリーニング剤はクリーニングプログラム中に投入します。

- ☑ クリーニングプログラムではコーヒーマシン用クリーニング剤の投入を要求するメッセージが表示されます。



- ▶ コーヒーマシン用クリーニング剤を投入口に入れてください。
- ▶ クリーニングプログラムで  ボタンを選択します。
- ▶ クリーニングプログラムのその他の表示メッセージに注意してください。

### NcFoamer の交換 ( オプション )



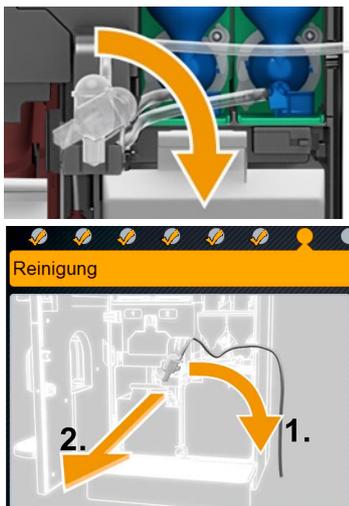
NcFoamer に関する詳細については「安全に関する注意事項」- 「衛生面規則」- 「ミルク」の章および「操作」- 「充填と接続」- 「ミルク」の章も参照してください。の章を参照。

「NcFoamer」はフォーマーヘッド、ミルクホースおよびミルク吸引ノズルから成る使い捨てセットです。

- ▶ マシンのサービスドアがまだ開いていない場合は、開きます。



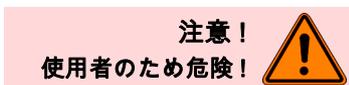
「メイン画面のタッチスクリーン」- 「サービスドアを開く」の章参照。



- ▶ 使い捨てフォーマーヘッドを右に 90° 回し (1)、ホースとミルク吸引ノズルと共に前に (2) 引き抜きます。
  - クリーニングプログラムの場合、ミキサーカップを解体する指示が出されます (パウダーシステムが取り付けられている場合)。
  - 新しい NcFoamers を取り付ける指示がディスプレイに表示されます。



このクリーニングステップでは、次に NcFoamer を交換する日付が表示されます。

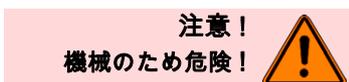


ミルクの残りや細菌によってミルクおよび NcFoamer が汚染される恐れがあります。使い古しの NcFoamer は十分に洗浄することができません。パッケージから取り出した未使用の清潔な NcFoamer を常に使用してください。

- ▶ ミルクホースとミルク吸引ノズルの付いた新しい NcFoamer を取り付けます。
- ▶ 使い捨てフォーマーヘッドを、カチッと音がするまで左に 90° 回します。
  - クリーニングプログラムの途中で、ディスプレイに NcFoamer を交換したかどうかの問い合わせが表示されます。
- ▶ パッケージから取り出した未使用の清潔な NcFoamer を取り付けたならば、 で確定します。
  - クリーニングプログラムでは、ディスプレイの指示に注意してください。



### パウダーシステムのミキサーカップ ( オプション )



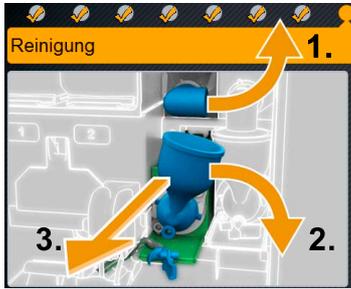
高温の場合、損傷につながる恐れがあります。パウダーシステムのコンポーネントは食器洗浄機で洗浄しないでください。



「安全に関する注意事項」 - 「衛生面規則」 - 「マシン用パウダー/インスタントパウダー(オプション)」の章を参照。

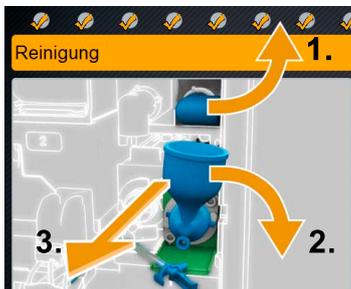


パウダーシステムが取り付けられていない場合、クリーニングプログラムでは以下のクリーニングステップは除外されます。



#### オプション 1: 左パウダーシステム

- ▶ パウダーシステム供給口から飲み物出口へのホースを取り外します。
- ▶ パウダー供給曲り管 (1) を 90° 上方へ回します。
- ▶ 緑色のスライド装置の付いたパウダーシステム供給口を引っ張り出します。
- ▶ ミキサーカップ (2) を右に 90° 回し、前に引き抜きます。
- ▶ ミキサーカップを解体し、クリーニングします。
- ▶ クリーニングプログラムで ボタンを選択します。
- ▶ ミキサーカップを逆の順番で再び取り付けます。
- ▶ クリーニングプログラムで ボタンを選択します。



#### オプション 2: 右パウダーシステム

- ▶ パウダーシステム供給口から飲み物出口へのホースを取り外します。
- ▶ パウダー排出口 (1) を 90° 上方へ回します。
- ▶ 緑色のスライド装置の付いたパウダーシステム供給口を引っ張り出します。
- ▶ ミキサーカップ (2) を右に 90° 回し、前に引き抜きます。
- ▶ ミキサーカップを解体し、クリーニングします。
- ▶ クリーニングプログラムで ボタンを選択します。
- ▶ ミキサーカップを逆の順番で再び取り付けます。
- ▶ クリーニングプログラムで ボタンを選択します。

## クリーニングは 2 日に 1 回手作業で

### ミルクコンテナ (オプション)

**注意!**  
使用者のため危険!



ミルクの残りや細菌によってミルクおよびミルクコンテナが汚染される恐れがあります。ミルクコンテナとカバーは毎回 NcFoamer を交換するのに合わせてクリーニングしてください。

**注意!**  
機械のため危険!



高温の場合、損傷につながる恐れがあります。ミルクコンテナは食器洗浄機で洗浄しないでください。

- ▶ ミルクコンテナの残りのミルクを捨ててください。
- ▶ ミルクコンテナを清潔な水と市販のクリーニング剤で洗浄します。
- ▶ ミルクコンテナを清潔な未使用の布で拭き取ってください。
- ▶ ミルクコンテナを再び冷却ユニットに取り付けます。

### 水道水供給時の内部飲料水タンク

**注意!**  
使用者のため危険!



残りかすや細菌により飲料水が汚染される恐れがあります。水道水に接続されている飲料水タンクも 2 日 1 回洗浄してください。

**注意!**  
機械のため危険!



高温により損傷する恐れがあります。飲料水タンクは食器洗浄機で洗浄しないでください。

- ▶ 飲料水タンクは清潔な水で丁寧に何回も洗い流してください。
- ▶ 飲料水タンクのカバーを清潔な水で何回も丁寧に洗浄します。
- ▶ その後、使用していない布で拭き取ってください。

- ▶ 飲料水タンクをマシンに取り付けます。

### 個別冷却ユニットの内部 (オプション)

ミルクの残りや細菌によってミルクおよび冷却ユニットが汚染される恐れがあります。冷却ユニットは2日に1回クリーニングしてください。

- ▶ ミルクコンテナを冷却ユニットから取り出します。
- ▶ 冷却ユニット内側を新鮮な水と清潔で未使用の布で拭き取ります。
- ▶ 冷却ユニットに再びミルクコンテナを入れます。



「安全に関する注意事項」 - 「衛生面規則」 - 「ミルク」の章を参照。

### タッチスクリーン

不適切な取扱いにより、タッチスクリーンに損傷がおよぶ恐れがあります。力を入れたり、力強く、または尖った物体でタッチスクリーンを操作しないでください。絶対に精練剤を使用しないでください。タッチスクリーンに直接ガラス用クリーナーを吹き付けないでください。



- ▶ タッチスクリーン上で [サービスメニュー] ボタン (図を参照) を押します。
  - ☑ 「サービスメニュー」が表示されます。
- ▶ [スタンバイ] ボタンを押します。
  - ☑ マシンがスタンバイに切り替わります。
- ▶ 市販のガラス用クリーナーをペーパータオルに吹き付けます。
- ▶ タッチスクリーンのクリーニングを行います。
- ▶ 操作パネル右側のスイッチ  を押します。
  - ☑ メインスクリーンが現れ、マシンの準備が完了します。

### マシンの外側

- ▶ タッチスクリーン上で [サービスメニュー] ボタン (図を参照) を押します。
  - ☑ 「サービスメニュー」が表示されます。
- ▶ [スタンバイ] ボタンを押します。
  - ☑ マシンがスタンバイに切り替わります。
- ▶ マシン外側の汚れを湿った布で拭き取ります。
- ▶ 操作パネル右側の  スイッチを押します。
  - ☑ メインスクリーンが現れ、マシンの準備が完了します。

## 必要であれば

### 抽出ユニット

抽出ユニットに付着したコーヒーの残りによってカビが発生する恐れがあります。マシン内にカビ胞子が繁殖すると、コーヒーが汚染される恐れがあります。作動時間に応じて抽出ユニットをときどき点検し、必要ならば指示通りクリーニングを行ってください。

高温の場合、損傷につながる恐れがあります。抽出ユニットは食器洗浄機で洗浄しないでください。

- ▶ サービスドアを開く



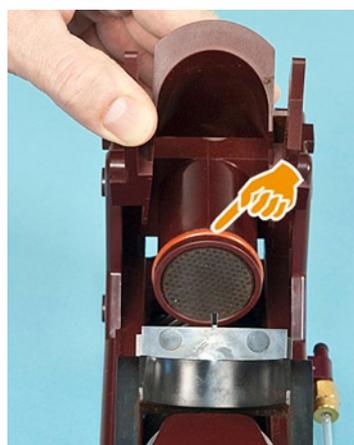
「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。



- ▶ コーヒーかすコンテナを取り外します。
- ▶ 雫受けを取り外します。
- ▶ ロック (A) を前方へ引き出したままにしてください。  
☑ これにより抽出ユニットのロックが解除されます。
- ▶ ロックが解除された抽出ユニットを下向きに回転させながらマシン前方へと引き出して  
ください。



- ▶ カチッと音がするまで、マルチツールで抽出ユニットの主軸を反時計回りに回します。  
☑ ワイパー (B) がワイパー位置に移動します。



- ▶ コーヒー粉末の残りを乾いたブラシで取り除きます。
- ▶ こし器をクリーニングするために、投入シュート (C) を軽く持ち上げます。
- ▶ 必要に応じて、こし器を温かい流水で洗浄してください。
- ▶ 必要に応じて、抽出ユニットを温かい流水で洗浄してください。
- ▶ 抽出ユニットを完全に乾かします。
- ▶ こし器の O リングにモリコート グリース 111 (33.2179.9000) を軽く塗布します。
- ▶ マルチツールで抽出ユニットの主軸を時計回りに止まるまで回します。
- ▶ そこから反時計回りに主軸を 1/4 回転回して元に戻します。
- ▶ 抽出ユニットを逆の順番でマシンに装着してください。
- ▶ コーヒーかすコンテナを再び取り付けます。
- ▶ 雫受けを再び取り付けます。

## コーヒー豆ケース



コーヒー豆ケースに付着した古いコーヒー豆の油分により、コーヒーの風味が損なわれる恐れがあります。

**注意!**  
使用者のため危険!



グラインダーの回転刃によって怪我をする恐れがあります。  
絶対にマシンのスイッチが入った状態でコーヒー豆ケースに手を入れないでください。

**注意!**  
機械のため危険!



高温により損傷する恐れがあります。  
コーヒー豆ケースは食器洗浄機で洗浄しないでください。

- ▶ コーヒー豆ケースの汚れは湿った布で拭き取ってください。
- ▶ コーヒー豆ケースカバーの汚れは湿った布で拭き取ってください。
- ▶ その後、清潔な布でカバーとケースを拭いて乾かします。

## パウダーケース (オプション)

**注意!**  
機械のため危険!



製品コンテナは決して食器洗い機で洗浄しないでください。高温の場合、損傷につながる恐れがあります。  
パウダーケースの汚れは必ず湿った布で拭き取ってください。



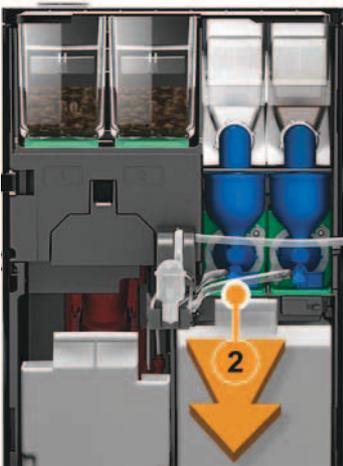
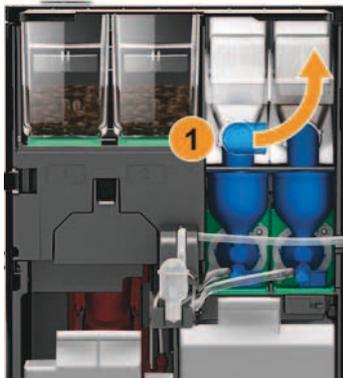
「安全に関する注意事項」 - 「衛生面規則」 - 「マシン用パウダー/インスタントパウダー(オプション)」の章を参照。

- ▶ マシンのサービスドアを開きます。

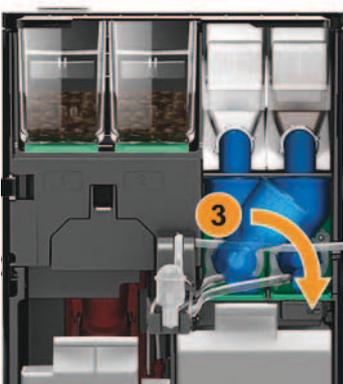


「メイン画面のタッチスクリーン」 - 「サービスドアを開く」の章参照。

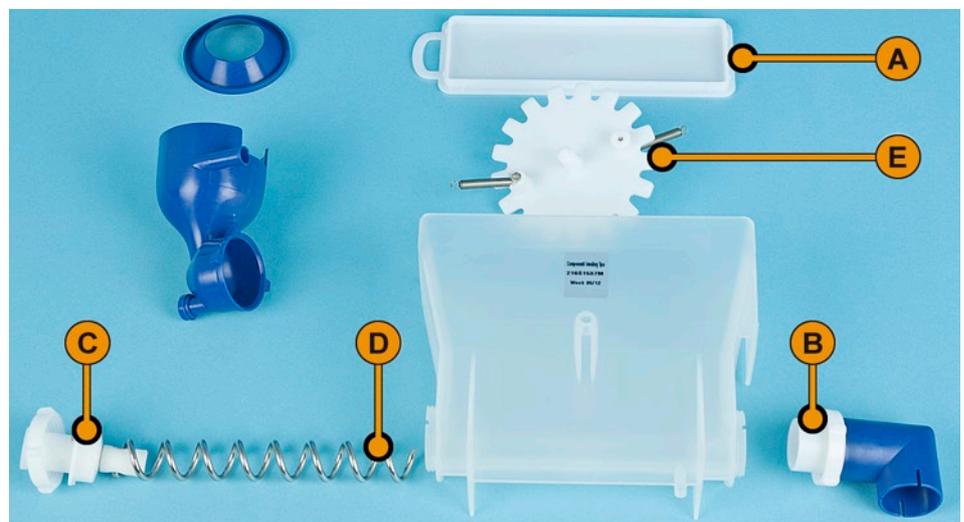
- ▶ マシンのカバーを開きます。
- ▶ パウダー排出口 (1) を 90° 上方へ回します。
- ▶ パウダーケースまでのホースを取り外します。



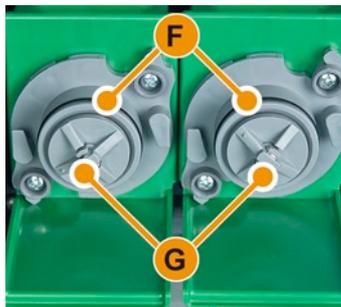
- ▶ パウダーシステム供給口から飲み物出口へのホース (2) を取り外します。
- ▶ 緑色のスライド装置の付いたパウダーシステム供給口を引っ張り出します。



- ▶ ミキサーカップ (3) を右に 90° 回し、前に引き抜きます。
- ▶ パウダーケースの前面を軽く持ち上げ、引き出します。
- ▶ パウダーシステム供給口とパウダーケースを解体し、クリーニングします。



- ▶ カバー (A) を外し、パウダーケースを空にします。
- ▶ 右ユニオンナット (B) を外し、パウダー排出口を取り外します。



- ▶ 左ユニオンナット (C) を外し、スクリュードライブ (D) ごと引き出します。
- ▶ 親指で押しながら両壁面を注意深く引き離し、ガイドからピボットホイール (E) を引き出します。
- ▶ 各パーツはすべて清潔な水で丁寧に洗浄します。
- ▶ Oリング (F) と羽根車 (G) の汚れは湿った布で拭き取ってください。
- ▶ 全パーツを完全に乾かします。
- ▶ パウダーケースとパウダーシステム供給口を逆の順番で再び組み立て、マシンに装着してください。
- ▶ マシンのカバーを閉めます。
- ▶ 再びサービスドアを閉めます。

### 廃水タンク (オプション)



廃水タンクは必要に応じて熱湯で丁寧に洗い流してください。

- ▶ マシンの電源を切ります。
- ▶ 廃水ホースを廃水タンクから取り外します。
- ▶ 廃水タンクを空にして、清潔な水と市販の洗剤で洗浄します。
- ▶ 廃水ホースを再び廃水タンクに差し込みます。
- ▶ マシンを再び使用準備完了状態にします。

## 強制クリーニング

強制クリーニングは、入力されたクリーニング要求時刻に直接関連しています。強制クリーニングはディスプレイに表示されたクリーニング要求の2時間後に行われます。強制クリーニングが始まると、飲み物の引渡しは中断されます。

飲み物の引渡しは、クリーニングが終了してから再び可能となります。



強制クリーニングとスタートまでの時間を設定できるのはサービス技術者です。

## HACCP 手法

### クリーニング規則

取付け、メンテナンス、手入れ、そしてクリーニングが適切に行われている場合、シエーラ一社のコーヒーマシンは HACCP 条件を満たしています。

**注意！**  
機械のため危険！



コーヒーマシンの手入れおよびクリーニングが不適切である場合、ミルクを用いた飲み物の引渡しに衛生面での問題が生じます。

以下の項目に注意し、これらを守ってください：

- クリーニング中は保護手袋を着用してください。
- クリーニング前と後には丁寧に手を洗ってください。
- 毎日飲み物の提供終了後、マシンをクリーニングしてください。
- 毎回ミルクを入れる前と飲み物の提供終了後、ミルクコンテナを洗浄してください。
- ミルクコンテナには決して洗剤を使用しないでください。
- 飲料水タンク（内部 / 外部）には決して洗剤を使用しないでください。
- 洗剤は決して混合しないでください。
- 洗剤はコーヒー、ミルク、マシン用パウダーとは隔離して保管してください。
- 精練剤、ブラシ、またはその他の金属製クリーニング用具は使用しないでください。
- 飲み物に触れるパーツにはクリーニング後は触れないようにしてください。
- 洗剤の使用量および安全に関する注意事項に注意し、これらを守ってください。
- 毎日および週 1 回のクリーニングは、取扱説明書およびクリーニングカードに従って行ってください。



すでにクリーニングが実行された場所とそうではない場所を簡単に見分けるため、本章のクリーニング予定を使用してください。

## 洗剤

**注意！**  
機械のため危険！



間違った洗剤を使用すると、マシンが故障することがあります！

毎日および週 1 回のクリーニングには、必ずシエラー社によって推奨されている洗剤を使用してください。



洗剤使用前には、パッケージの情報および安全データシートに注意深く目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社にこれを請求してください。

## クリーニングタブレット



情報	
用途	コーヒーマシンのクリーニング
クリーニング用途	コーヒーマシン内に付着した油分の除去
使用間隔	2日に1度

## カルキ抜き



情報	
用途	ボイラーおよび配水システムのカルキ抜き
クリーニング用途	コーヒーマシン内に堆積したカルキの除去
使用間隔	コーヒーマシンの指示に従うこと

## サービスおよびメンテナンス

### カルキ抜き

カルキ抜きの前には以下を準備してください：

- 液体カルキ抜き (0.75 l) 2 本
- 下受けコンテナ (5 l)

カルキ抜き作業は 3 ステップ構造となっており、ディスプレイが使用されます。

- 冷却
- カルキ抜き
- すすぎ
- ▶ [管理担当] サービスメニューを選択します (ピンコードを入力)。
- ▶ [設定] メニューを選択します。
- ▶ [サービス] メニューの [カルキ抜きを開始] を選択します。
  - ☑ これで、ディスプレイにカルキ抜きの次のステップが表示されます。
  - ☑ ここではカルキ抜きの開始、または中断が可能です。

### フィルター (オプション)

#### 内部飲料水タンク用フィルターの取付け (オプション)



付属のフィルターはマシンの内部飲料水タンクへの取付け専用です。

付属のフィルターを内部飲料水タンク内に取り付ける前には、フィルターを取り付ける必要があるか確認するために水質テストを行ってください。このためには、マシンの試運転時の水値を入力する必要があります。



本章の「水の硬度を特定」の章を参照してください。



- ▶ 水タンク内に取り付けられた排水フィルターを取り除きます。
- ▶ フィルターのケースを開きます。
  - ☑ 一番上にはフィルターのアダプターが取り付けられており、その下に個別にフィルターカートリッジが配置されています。



- ▶ アダプターのロックを上向きに引っ張ります。



- ▶ アダプターを上から排水口に差し込み、ロックを下へと押します。



- ▶ フィルターカートリッジを開封し、水に入れます (約 15 分用)。  
☑ 気泡が立ち上ります。
- ▶ 泡が出なくなったら、フィルターカートリッジを水から取り出します。



- ▶ フィルターカートリッジをアダプターに差し込みます。

### 内部飲料水タンク用フィルターの交換 (オプション)

フィルター交換が必要な場合には、対応の要求がディスプレイに表示されます。

- ▶ 飲料水タンクをマシンから取り外します。
- ▶ 使い古したフィルターカートリッジをアダプターから外します。



- ▶ 新しいフィルターカートリッジを開封し、水に入れます (約 15 分用)。  
☑ 気泡が立ち上ります。
- ▶ 泡が出なくなったら、フィルターカートリッジを水から取り出し、アダプターに差し込みます。
- ▶ 飲料水タンクを再びマシンに取り付けます。



交換カートリッジはシェーラー社からお求めいただけます。必要な製品番号は、マシン別の交換部品カタログに記載されています。



交換はディスプレイのガイドを介して行う必要があります。そうしない場合は、マシンが交換を認識しません。



カルキ抜きタイミングが精確に算出されるよう、(水の硬度テストによって割り出された)水の硬度、フィルターの使用をコーヒーマシンにプログラミングしてください。



「管理担当プロフィール」 - 「システム」 - 「メンテナンス」で水の硬度を設定することができます (サービス技術者によって実施してください)。の章を参照。



「管理担当プロフィール」 - 「システム」 - 「給水」からはフィルターの設定を行うことができます。の章参照。

## 外部の水フィルター



外部の水フィルターは、プログラムされたリッター数に達した後、認定サービスパートナーあるいはサービス技術者に交換を依頼してください。



「水質に関する追加の説明書」には、水値のまとめ、そしてフィルター技術の使用に関する情報が含まれています。上記の追加の説明書は、シエラー株式会社に注文するか、あるいはウェブサイトのメディアセンター (<http://www.schaerer.com/member>) から直接ダウンロードできます。

## メンテナンス

コーヒーマシンは定期的にメンテナンスを行ってください。メンテナンスを行う日時は様々な要因によって決まりますが、特にマシンがどれだけ利用されるかに大きな影響を受けません。

メンテナンスが必要になると、マシンのディスプレイにその旨が表示されます。マシンはそのまま通常通りに使用することができます。

- ▶ サービスパートナーに連絡し、メンテナンスを依頼してください。

**注意！**  
機械のため危険！



予定されているメンテナンスがすぐに実行されない場合、消耗につながり、マシンを正常に使用できなくなる恐れがあります。

メンテナンスを行うようにとのメッセージが現れた場合、すぐにサービスパートナーに報告してください。

## サービスルーチン

サービスルーチンの頻度は、周期数（飲み物供給の回数）またはマシンが作動した期間（月数）に依存します。

SCP のサービスルーチン		
	周期数	月数
サービス 1	15'000	12
サービス 2	30'000	24

SCP パワーバックのサービスルーチン		
	周期数	月数
サービス 1	30'000	24



# プログラミング

## 概要

「サービスメニュー」には、エンドユーザー向けにあらかじめ設定された以下のプロフィールが用意されています。

- 管理人プロフィール
- 会計担当プロフィール
- 会計人プロフィール 縮小版
- マシン担当者プロフィール
- 設備管理人プロフィール
- 品質管理マネージャープロフィール

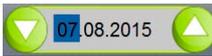
プロフィールはサービス技術者によって作動させることができます。また、サービス技術者によって各プロフィールのアクセスコードが設定されます。



プロフィールと機能については本章の後方にて説明されています。

## 解説

マーク	説明
	このボタンを触ると「サービスメニュー」が開きます。
	プロセスのストップ/キャンセル
	確定
	次へ/スタート
	前の画面に戻る
	加えられた変更の保存

マーク	説明
	削除 / 値をゼロに設定 飲み物の注出を中断
	このボタンを触ると調整ダイヤルが表示されます： ▶ ダイヤルを動かして任意の値を設定します。 ▶ チェック印を押して設定した値を確認します。
	機能の有効化 / 無効化 オン / オフ
	選択ボタンが表示されます。
	値を設定するための矢印ボタン。 ▶ 値をハイライトします。 ▶ 矢印ボタンを上下方向に押すことにより、ハイライトされた値を任意の値に設定します。
	メディア データのフォルダーを開きます。飲み物ボタンの画像またはアイコンの USB メモリーからのアップロード。
	メディア データ選択の画面を閉じます。

## USB 接続口

シェラー コーヒープライムでは、ソフトウェアのアップデートもしくはバックアップは USB メモリーで行います。USB 接続口は操作パネル右側に設けられており、カバーで保護されています。

- ▶ マシンの電源を切ります。



- ▶ 小型ドライバーで USB 接続口カバー横の穴を押します (図を参照)。
- ☑ これでカバーははずすことができます。

## 管理人プロフィール

「管理人」とは技術障害が発生した場合に最初に報告できる人物です。基本の技術的ノウハウを有しており、定期的にコーヒーマシンの関連作業に従事しています。

[管理担当]プロフィールの [設定] 「サービスメニュー」内には以下のメインメニューが設けられています：

- システム
- 設定
- サービス
- インフォメーション

[管理担当]プロフィール内の 「サービスメニュー」からは、以下の機能を直接選択することができます：

- ミルクシステムのスイッチ オン/オフ
- セルフサービス・モードをオンにする
- クイックインフォの電源オン(現在のボイラー温度がディスプレイの右下に表示されます)
- 設定
- スタンバイ
- サービスドアを開く



メインメニューの内容については本章の後方にて説明されています。

## システム

「メンテナンス」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
前回のサービス	サービスを実行した後、現在の日付をこのパラメーターに設定する必要があります： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日付ボタンを押します。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 現在の日付が自動的に設定されます。</li> </ul> </li> <li>▶ 設定を保存します。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ ディスプレイ上のサービスに関する指示が消えます。</li> <li>☑ カウンターサービスがリセットされます。</li> </ul> </li> </ul>	前回のサービスの日付 / 現在の日付	-

「給水」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
給水	<p>アクアフレックスの切替え</p> <p><b>オプション 1: 飲料水タンクから水道水接続へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ サービスドアを開き、飲料水タンクを外します。</li> <li>▶ アクアフレックスのねじをドライバー (サイズ 3) で締め込みます。</li> <li>▶ 飲料水タンクを再び取り付け、サービスドアを閉めます。</li> <li>▶ 水の供給源を「水道水接続」に設定します。</li> </ul> <p><b>オプション 2: 水道水接続から飲料水タンクへ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ サービスドアを開き、飲料水タンクを外します。</li> <li>▶ アクアフレックスのねじをドライバー (サイズ 3) で緩めます。</li> <li>▶ 飲料水タンクを再び取り付け、サービスドアを閉めます。</li> <li>▶ 水の供給源を「内部飲料水タンク」に設定します。</li> </ul>	水道水接続 / 内部飲料水タンク	 <p>アクアフレックスねじ</p>
排水システム	<p>試運転中に初めて設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 変更する場合には、このパラメータを適合させてください。</li> <li>▶ 廃水出口もしくは廃水タンクにて、雫受け内のドレーンプラグを外します。</li> </ul> <p>「オプションおよび周辺機器」の章を参照。</p>	廃水出口 /	(オプション) マシンにはオプションの廃水出口が必要です。
		廃水タンク	(オプション) マシンにはオプションの外部廃水タンクが必要です。
		雫受け	(標準) 雫受けにはストッパーが取り付けられています。
フィルター	<p>使用されているフィルターを定義します。</p> <p>選択された給水栓に応じてフィルターの選択幅が決定されます。</p>	フィルター無し 外部フィルター 内部フィルター	水道水供給または飲料水タンクかによって区別されます。

「グラインダー/抽出ユニット」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
左コーヒー豆ホッパーの名称	<p>名前は自由に定義できます。</p> <p>最高 24 個の記号を入力できます。</p> <p>コーヒー豆ケースのうち一つが空になると、空メッセージにはどちら側 (左 / 右) が空であるか、さらに割り当てられた名前が表示されます。</p>	A ~ Z 0 - 9	推奨されている設定: コーヒーの種類、例えばエスプレッソ、DECAF などに応じて名づけます。
右コーヒー豆ホッパーの名称			
DECAF の供給源	このパラメーターは、DECAF の飲み物 ([DECAF] プレ選択ボタン + 任意の飲み物ボタンで選択) を作る際にどのグラインダーを使用すべきか示します。	なし 左側のグラインダー 右側のグラインダー	-

「グラインダー / 抽出ユニット」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
他方のグラインダーが空もしくはブロックされている場合、スイッチを切り替えます	<p>該当するグラインダーが残量ゼロを示すかまたはブロックされている場合、有効なパラメーターが自動的に 2 台めのグラインダーに切り替えます。</p> <p>2 台めのグラインダーに切り替えられると、次に残量ゼロを示すかまたは飲み物レシピがブロックされまでこのグラインダーが割り当てられます。</p>	オフ / オン	「両方のコーヒー豆コンテナ内のコーヒー豆ミックス」パラメーターが [ 同一 ] に選択されると、このパラメーターは自動的にオンになります。
コーヒーかすコンテナの容量	<p>ここでは、コーヒーかすコンテナを空にするようにとの要求が出されるまでに、コーヒーかすコンテナにどれだけのコーヒー絞りかすが収容されるのかを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 設定ボタンを押します。                     <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> スクロールホイールが表示されます。</li> </ul> </li> <li>▶ 任意の値を設定します。</li> <li>▶ チェック印を押して確定します。</li> </ul> <p>「0」に設定するとモニタリングは行われず、アンダーカウンター用コーヒーかす入れを備えたマシン、または引き出しと内蔵コーヒーかすコンテナが付いた下付けユニットの場合にはモニタリングは設定されません。</p>	0 - 40	<p>推奨されている設定 :36</p> <p>「0」に設定するとモニタリングは行われません。</p> <p>そのため、オプションで下付けユニットに内蔵されたコーヒーかすコンテナはときどき確認する必要があります。</p>

「クリーニング」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
エキスパート モード クリーニング	<p>クリーニングを起動すると、自動的にエキスパート クリーニングがスタートします。</p> <p>全ての準備ステップがリストアップされます。これらのステップは随意に中止することができます。全てのステップが実行されサービスドアが再び閉まり、それでは有効になる  ボタンでクリーニングをスタートすることができます。</p>	オフ / オン	<p>クリーニングを  ボタンで中断すると、クリーニング要求は残ったままになります。</p> <p>クリーニングはスイッチを切るかまたは停電によっても中断することがあります。</p> <p>中断されたクリーニングは、クリーニングをサイドスタートさせることで完了することができます。</p>

「ハードウェア環境設定」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
電源ボルト数	<p>このパラメータによって、使用されているマシンが 100 V、120 V または 230 V (標準) のうちいずれに当たるかが定まります。これは、様々な熱湯ボイラーにおける加熱制御を設定するために必要となります。</p> <p>この設定はサービス技術者によって実行されます。</p>	<p>230 V (216..244)</p> <p>100 V (95..105)</p> <p>120 V (114..126)</p>	-
右側のグラインダー	-	オフ / オン	ハードウェア自動検出。
左ミキサー	<p>ミルクポンプ付きミルクシステムがオンになっていない場合、左側のミキサーをオンにします。</p>	オフ / オン	ミルクポンプ付きマシンの場合パラメーターはオフです。

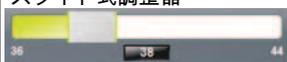
「ハードウェア環境設定」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
左インスタントパウダー用モーター	ミルクポンプ付きミルクシステムがオンになっていない場合、左インスタントパウダー用モーターをオンにします。	オフ / オン	ミルクポンプ付きマシンの場合パラメーターはオフです。
ミルクポンプ *	左パウダーシステムがオンになっていない場合、ミルクポンプをオンにします。 左パウダーシステムを使った飲み物設定を行うと、「ミルクポンプ」パラメーターがオンの場合、飲み物設定にエラーメッセージが表示されます。	オフ / オン	(*) この機能は現在使用できません。 パウダーシステム「左ミキサー」用のコンポーネントはすべてオフになります。
ミルクシステムのピンチバルブ *	左パウダーシステムがオンになっていない場合、ピンチバルブをオンにします。	オフ / オン	(*) この機能は現在使用できません。 「ミルクポンプ」の注意事項を参照してください。
ミルクシステムの洗浄バルブ *	左パウダーシステムがオンになっていない場合、洗浄バルブをオンにします。	オフ / オン	(*) この機能は現在使用できません。 「ミルクポンプ」の注意事項を参照してください。
冷水ミキシングバルブ	パウダーシステムを使用すると冷水ミキシングバルブが自動的にオンになります。 冷水ミキシングバルブによって飲み物温度が調節されます。	オフ / オン	自動的にハードウェア検出。

## 設定

「一般」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
言語	ディスプレイ言語の切替え ▶ [>] ボタンで選択メニューを開きます。 ☑ 選択メニューが表示されます。 ▶ 任意の言語を選択します。	保存されているすべての言語	-
テキストのみの飲料ボタン	この設定がオンになっている場合、飲み物ボタンにはテキストだけでマークは表示されません。 テキストのみの飲料ボタンの例 	オフ / オン	-

「一般」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
飲み物ボタン マーク	<p>2種類の異なるマークタイプを使用することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ [&gt;] ボタンで選択メニューを開きます。 ☑ 選択メニューが表示されます。</li> <li>▶ 任意のマークセットを選択します。</li> </ul> <p>セット1 例図</p>  <p>セット2 例図</p> 	セット1 (白 / 黒) セット2 (カラー)	標準設定 = セット2
温度の単位	<p>ここでは温度の単位を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ [&gt;] ボタンで選択メニューを開きます。 ☑ 選択メニューが表示されます。</li> <li>▶ 任意の単位を選択します。</li> </ul>	摂氏 華氏	-
スクリーンセーバーに変わるまでの時間 [分]	<p>選択した時間が経過するとスクリーンセーバーが表示されます。0を選択した場合、スクリーンセーバーは表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 任意の値を設定します。</li> </ul> <p>「サービス」 - 「画像をアップロード」からは、スクリーンセーバーとして表示される画像をアップロードすることができます。</p>	0 - 60	画像の前提条件： サイズ = 250 kB フォーマット = jpg、png、gif ピクセル = 800 x 480
飲み物タブ 1 ~ 5 の色	<p>タブレベルの背景色。 タブレベルは選択された色と共に登録されます。 「標準」を選択すると、タブレベルは黒色で登録されます。</p>	標準 赤色、緑色、青色、黄色	
高感度飲み物ボタン	<p>飲み物ボタンに触れた時の反応が速くなります。</p>	オフ / オン	-
ポインター表示	<p>オンになっていると、タッチスクリーンに触れた時にポインターとして小さなスイス十字架マークで位置が表示されます。</p> <p>色付きタブの例</p> 	オフ / オン	-

「飲み物パラメータ」メニュー項目			
設定可能な範囲	説明	設定範囲	注意事項
タブ 1 ~ 5	<p>飲み物タブの名称変更：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 5秒間タブを押します。 ☑ キーボードが表示されます。</li> <li>▶ 任意の名前を入力し、 で確定します。</li> </ul>	すべての文字 および数字	-

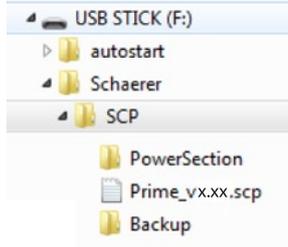
「飲み物パラメータ」メニュー項目			
設定可能な範囲	説明	設定範囲	注意事項
プログラミングされた飲み物を変更	<p>プレ設定された飲み物の様々なパラメータは、このメニュー項目にて変更することができます。飲み物によってパラメータは異なります。</p> <p>これらのパラメータでは、設定範囲が制限されています。すべての設定範囲にアクセスできるのはサービス技術者のみとなっています。</p>	すべての文字および数字	<p>前処理レベル:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: コーヒー注出が速い、最大開口、接触圧力わずか</li> <li>2: 中度開口、接触圧力は中程度</li> <li>3: 接触圧力わずか</li> <li>4 (標準): 接触圧力は中程度</li> <li>5: 大きな接触圧</li> <li>6: 抽出前の下準備 (1 ml/1 g)、下準備時間 2 秒、大きな接触圧</li> <li>7: 抽出前の下準備 (1 ml/1 g)、下準備時間 2 秒、大きな接触圧、ウェットプレス</li> </ol>
	<p>コーヒー飲料のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• グライNDERの挽く量</li> <li>• ボタンごとのサイクル</li> <li>• 前処理レベル</li> <li>• 水量</li> <li>• バイパス水 (サービス技術者)</li> <li>• 抽出加速装置の水の流れ (サービス技術者)</li> </ul>	飲み物による	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 (標準): 接触圧力は中程度</li> <li>5: 大きな接触圧</li> <li>6: 抽出前の下準備 (1 ml/1 g)、下準備時間 2 秒、大きな接触圧</li> <li>7: 抽出前の下準備 (1 ml/1 g)、下準備時間 2 秒、大きな接触圧、ウェットプレス</li> </ol>
	<p>ミルク入り (パウダーもしくは新鮮なミルク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ホットミルク注出時間 [秒]</li> <li>• 冷たいミルク注出時間 * [秒] (サービス技術者)</li> <li>• ミルクフォーム注出時間 [秒]</li> <li>• ミルクパウダーのすすぎ水量</li> <li>• ミルクパウダーのパウダー量</li> <li>• パウダーフォームの水量</li> <li>• パウダーフォームのすすぎ水量</li> <li>• パウダーフォームのパウダー量</li> </ul>	飲み物による	(*) 「ミルクポンプ付きフレッシュミルクシステム」を用いることも可能です..
	<p>パウダーを使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水量 [ml]</li> <li>• パウダー量 [%]</li> <li>• 温度 (水)</li> </ul>	飲み物による	
	<p>冷水を使用</p> <p>注出時間 [秒]</p>	飲み物による	
	<p>設定はスライド式調整器または調整ダイヤルで行われます:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スライド式調整器 / 調整ダイヤルを任意の値に設定します。</li> </ul>	—	<p>スライド式調整器</p>  <p>調整ダイヤル</p> 

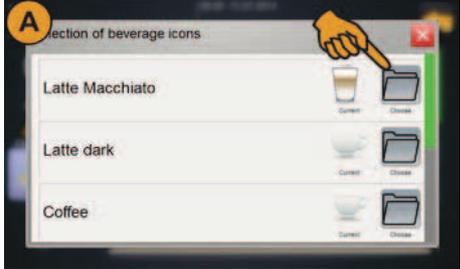
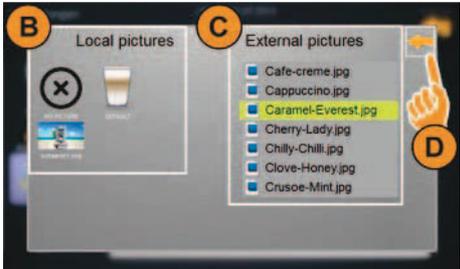
メニューポイント 「セルフサービスモード」			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
セルフサービスモード アクティブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セルフサービスモードをオン / オフします。</li> <li>▶ 変更内容をボタン  で保存します。</li> <li>☑ 再起動が行われます。</li> </ul>	オフ / オン	DECAF ボタンによる飲み物供給は、セルフサービスモード作動中はオフになります。

「時間 / 日付 / タイマーモード」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
日付	日付の設定 : <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日を押します。</li> <li>▶ 矢印ボタンで数字を設定します。</li> <li>▶ 月を押します。</li> <li>▶ 矢印ボタンで数字を設定します。</li> <li>▶ 年を押します。</li> <li>▶ 矢印ボタンで数字を設定します。</li> </ul>	DD/MM/YYYY	-
時間	時間の設定 : <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 時間を押します。</li> <li>▶ 矢印ボタンで数字を設定します。</li> <li>▶ 分を押します。</li> <li>▶ 矢印ボタンで数字を設定します。</li> </ul>	hh:mm	-
日付 / 時間 フォーマット	日付および時間フォーマットの設定 : <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ [&gt;] ボタンで選択メニューを開きます。</li> <li>☑ 選択メニューが表示されます。</li> <li>▶ 任意のフォーマットを選択します。</li> </ul>	12 時 / 24 時	-
サマータイム	サマータイムによる時間調節の設定 : <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ [&gt;] ボタンで選択メニューを開きます。</li> <li>☑ 選択メニューが表示されます。</li> <li>▶ 任意の時間フォーマットを選択します。</li> </ul>	サマータイムなし EU サマータイム USA サマータイム	-
パワーセーブタイマー (0 はオフを意味します) [時間]	マシンが設定された時間内に飲み物の注出をしない場合、マシンのスイッチが切れます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 任意の時間を設定します。</li> </ul>	0.0 - 24.0 時	時間の設定は、半時間ごと。設定「0」= スイッチ切断なし
月曜日から日曜日までのタイマー	ここでは毎日マシンが自動的にオンおよびオフになるよう設定することができます : <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スライドでタイマーのオンとオフを有効にします。</li> <li>▶ 矢印ボタンでオンおよびオフにする時間を設定します。</li> </ul>	オン / オフ hh:mm	-

「会計」メニュー項目			
ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
会計のオン / オフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 会計をオン、またはオフにします。</li> </ul> 会計がオンにされると、飲み物には 1 つの会計システムのみが使用されるようになります。 価格はサービス技術者によって飲み物パラメータに保存されます。	オフ / オン	-

## サービス

ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
ディスプレイの校正	<p>ディスプレイの校正:</p> <p>校正の際にはディスプレイの様々な場所に × 印が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 校正が終了するまで、ディスプレイ上に表示された × 印をクリックしてください。</li> </ul>	-	ディスプレイの校正は、使用者がタッチスクリーンの操作に問題を抱えている場合に有効です。(ボタンを押しても反応が見られない場合など。)
グラインダーの校正	<p>グラインダーの校正にはディスプレイを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ タッチスクリーンの指示に従ってください。</li> </ul>	-	-
バックアップを作成します	<p>この機能により、現在の設定を USB メモリーに保存することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ USB メモリーを差し込みます。</li> <li>▶ [バックアップを作成する] ボタンを押します。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 現在の設定がメモリーに保存されます。</li> </ul>	設定およびカウンター状況	<p>USB メモリーに以下の標準フォルダツリーがない場合には、それが作成されます:</p> 
メディアマネージャー (画像、動画、アイコン)	<p>画像またはビデオを、USB メモリーの標準フォルダツリーに保存する必要があります。このため Schaerer フォルダに Media フォルダを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 任意の画像またはビデオを USB メモリーの Media フォルダに保存します。</li> <li>▶ USB メモリーをパネルに差し込みます。</li> <li>▶ [メディアマネージャー] ボタンを押します。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> Media フォルダが自動的に呼び出されます (A) (そうならない場合は手動でナビゲートします)。</li> <li>▶ 画像またはビデオを選択 (B) し、[アップロード] (C) ボタンで確定します。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 画像またはビデオが SCP に保存されます。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ (D) ボタンは選択したファイルを消去します。</li> </ul>	-	<p><b>画像の前提条件:</b>            サイズ = 最高 250 KB            フォーマット = jpg、png、gif            ピクセル = 800 x 480</p> <p><b>ビデオの前提条件:</b>            サイズ = 最高 20 MB            フォーマット = MPG2</p> <p><i>ビデオ変換についての詳細および詳しい条件に関してはシェーラー社までお問い合わせください。</i></p>

ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
<p>飲み物マークの選択</p>	<p>セット選択に加えて、メニュー「環境設定」-「一般」-「飲み物ボタンのマーク」で、各飲み物ごとに専用のアイコンを飲み物ボタンとして割り当てることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 任意の画像を USB メモリーの Media フォルダーに保存します。</li> <li>▶ USB メモリーをパネルに差し込みます。</li> <li>▶ [飲み物アイコンの選択] ボタンを選択します。                     <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 設定された飲み物が表示された画面 (A) が開きます。</li> </ul> </li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 該当する飲み物のフォルダーを選択します。                     <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> アイコン選択のための画面が開きます。</li> </ul> </li> </ul> <p>画像の管理：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• B) 読み込まれている飲み物の画像。</li> <li>• C) USB メモリーから利用できる画像。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ USB メモリーから新しい画像を選択します。                     <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> この画面を閉じ、画面 (A) に戻ります。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 飲み物ボタンにはもう新しい画像が表示されています。</li> </ul> </li> <li>▶ 画面 (A) で [X] ボタンを選択します。                     <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 画面 (A) が閉じます。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 選択した画像 / アイコンが飲み物ボタンに割り当てられました。</li> </ul> </li> <li>▶ (D) [X] ボタンで設定された飲み物を表示する画面に戻ります。</li> </ul>	<p>-</p>	<p>-</p>

ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
カルキ抜きを開始	<p>カルキ抜き作業にはディスプレイを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 液体カルキ抜き (0.75 l) を 2 本用意します。</li> <li>▶ 下受けコンテナ (5 l) を用意します。</li> </ul> <p>カルキ抜きは以下の 3 ステップで行います:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 冷却</li> <li>• カルキ抜き</li> <li>• すすぎ</li> </ul>	-	<p>各ステップでは、カルキ抜き進行状況が % で表示されます。</p> <p>「サービスおよびメンテナンス」 - 「カルキ抜き」の章を参照。</p>
フィルターを交換	<p>フィルター交換のためのウィザードをスタートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ タッチスクリーンの指示に従ってください。</li> </ul>	-	-
EVA DTS ファイルを作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ USB メモリーをパネルに差し込みます。</li> <li>▶ [EVA DTS ファイルを作成] ボタンを押します。</li> </ul> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現在の EVA DTS ファイルが作成され、メモリーに保存されます。</p>	-	<p>監査データの読み出し (販売およびキャッシュフロ-報告書)。</p> <p>EVA = ヨーロッパ自動販売協会</p> <p>DTS = データ転送プロトコール</p>

## インフォメーション

ディスプレイのテキスト	説明	設定範囲	注意事項
バージョン表示	<p>以下の情報をここで読み取ることができます:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• タッチパネルのソフトウェア バージョン</li> <li>• 電源部のソフトウェア バージョン</li> <li>• データバンクのバージョン</li> <li>• 会計のバージョン</li> <li>• Qt バージョン</li> <li>• Qt バージョンのライセンス</li> </ul>	-	<p>エラー報告の際には、これらの情報をサービス技術者に伝えてください。</p>
サービスカウンター	<p>ここではすべてのマシンコンポーネントのカウンター数値を読み取ることができます。</p>	-	-
マシンカウンター / 一時的なカウンター	<p>ここでは飲み物や飲み物の準備プロセスのカウンター状況を読み取ることができます。</p>	-	-
クリーニングの統計	<p>ここでは様々なクリーニングの日時を読み取ることができます。</p>	-	-
インフォサービス、カルキ抜き、フィルター交換	<p>ここでは前回、または次回のサービス、カルキ抜き、フィルター交換の日付を読み取ることができます。</p> <p>次回のサービスとして、注出された飲み物の数も表示される場合があります。</p>	-	-

## 会計担当プロフィール

「会計担当」は価格を設定でき、売上げ、カウンター状況、および統計を読み出すことができます。

[会計担当]プロフィールの[設定]「サービスメニュー」内には以下のメインメニューが含まれています:

- 設定
- インフォメーション

「サービスメニュー」のプロフィール[会計担当]では、以下の機能を直接選択できます:

- ミルクシステムのスイッチ オン/オフ
- クイックインフォの電源オン(現在のボイラー温度がディスプレイの右下に表示されます)
- 設定
- スタンバイ
- サービスドアを開く



メインメニューの内容については本章の後方にて説明されています。

「環境設定」メインメニュー			
「会計」メニュー	説明	設定範囲	注意事項
会計のオン/オフ	▶ 会計をオン、またはオフにします。 会計がオンにされると、飲み物には 1 つの会計システムのみが使用されるようになります。 価格はサービス技術者によって飲み物パラメータに保存されます。	オフ/オン	-

「インフォメーション」メインメニュー			
パラメータ	説明	設定範囲	注意事項
マシンカウンター / 一時的なカウンター	飲み物や飲み物の準備プロセスのカウンター状況すべての概要。 マシンカウンターおよび一時的なカウンターは全体でしか削除することができません: ▶ <b>✖</b> ボタンを押します。	-	使用者カウンターと全体カウンターの区別。使用者カウンターは削除できるので、これにより特定の時間の間カウンターを作動させることができます。全体カウンターは削除できません!

## 会計人プロフィール 縮小版

「会計人プロフィール 縮小版」ではカウンター状況や統計を読み出すことができます。

[縮小版会計人]プロフィールの[設定]「サービスメニュー」内には「情報」メインメニューが設けられています。

[縮小版会計人]プロフィール内の「サービスメニュー」からは、以下の機能を直接選択することができます:

- ミルクシステムのスイッチ オン/オフ
- クイックインフォの電源オン(現在のボイラー温度がディスプレイの右下に表示されます)
- 設定
- スタンバイ
- サービスドアを開く



メインメニューの内容については本章の後方にて説明されています。

「情報」メインメニュー			
パラメータ	説明	設定範囲	注意事項
マシンカウンター / 一時的なカウンター	<p>飲み物や飲み物の準備プロセスのカウンター状況すべての概要。</p> <p>マシンカウンターおよび一時的なカウンターは全体的にのみ削除することができます：</p> <p>▶ <b>X</b> ボタンを押します。</p>	-	使用者カウンターと全体カウンターの区別。使用者カウンターは削除できるので、これにより特定の時間の間カウンターを作動させることができます。全体カウンターは削除できません！

## マシン担当者プロフィール

「マシン担当者」のサービス機能は制限されています。

[マシン担当者]プロフィールの[設定]「サービスメニュー」内には以下のメインメニューが含まれています：

- ・ システム
- ・ サービス

[マシン担当者]プロフィール内の「サービスメニュー」からは、以下の機能を直接選択することができます：

- ・ すすぎの開始
- ・ クリーニングの開始
- ・ タッチスクリーンによるクリーニング (30 秒)
- ・ ミルクシステムのスイッチ オン/オフ
- ・ クイックインフォの電源オン(現在のボイラー温度がディスプレイの右下に表示されます)
- ・ クリーニング統計
- ・ 設定
- ・ スタンバイ
- ・ サービスドアを開く



メインメニューの内容については本章の後方にて説明されています。

「システム」メインメニュー			
パラメータ	説明	設定範囲	注意事項
メンテナンス	<p>前回のフィルター交換。</p> <p>前回のフィルター交換の日付入力</p> <p>▶ 日、月そして年を順々にハイライトします。</p> <p>▶ 矢印ボタンを使って上下方向の任意の数値に設定します。</p>	-	-

「サービス」メインメニュー			
パラメータ	説明	設定範囲	注意事項
飲み物マークの選択	「プログラミング」 - 「管理人プロフィール」 - 「飲み物アイコンの選択」。の章参照。	-	-

「サービス」メインメニュー			
パラメータ	説明	設定範囲	注意事項
フィルターを交換 (内部)	フィルター交換はディスプレイでガイドされます。 ▶ フィルター カートリッジを用意します。 ▶ フィルター カートリッジを 15 分 水に入れます。 ▶ ディスプレイの指示に従います。	-	-
カルキ抜きを開始	カルキ抜き作業にはディスプレイを使用します。 ▶ 液体カルキ抜き (0.75 l) を 2 本用意します。 ▶ 下受けコンテナ (5 l) を用意します。 カルキ抜きは以下の 3 ステップで行います： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 冷却</li> <li>• カルキ抜き</li> <li>• すすぎ</li> </ul>	-	各ステップでは、カルキ抜き進行状況が % で表示されます。 「サービスおよびメンテナンス」 - 「カルキ抜き」の章を参照。

## 設備管理人プロフィール

設備管理人は、飲み物パラメーター、セルフサービスモードそしてメニュー「会計」の設定にアクセスできます。

プロフィール [ 設備管理人 ] には以下のメインメニューが含まれています：

- 設定
- インフォメーション

「サービスメニュー」のプロフィール [ 設備管理人 ] では、以下の機能が直接選択できます：

- ミルクシステムの電源オン
- セルフサービス・モードをオンにする
- クイックインフォのスイッチ オン
- 設定
- スタンバイ
- サービスドアを開く



メインメニューの内容については本章の後方にて説明されています。

「環境設定」メインメニュー 「飲み物パラメータ」メニュー			
	説明	設定範囲	注意事項
タブ 1 ~ 5	「プログラミング」 - 「管理人プロフィール」 - 「プログラミングされた飲み物を変更」。の章参照。	すべての文字および数字	最大 24 個の記号を入力できます。
プログラミングされた飲み物を変更	「プログラミング」 - 「管理人プロフィール」 - 「プログラミングされた飲み物を変更」。の章参照。	すべての利用可能な飲み物	設定可能な飲み物の種類は、現在のオプションに左右されます。

「環境設定」メインメニュー			
メニュー「セルフサービスモード」	説明	設定範囲	注意事項
セルフサービスモード アクティブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セルフサービスモードをオフ/オンにします。</li> <li>▶ 変更内容を  ボタンで保存します。 <input checked="" type="checkbox"/> 再起動してください。</li> </ul>	オフ/オン	DECAF ボタンによる飲み物供給は、セルフサービスモード作動中はオフになります。

「環境設定」メインメニュー			
「会計」メニュー	説明	設定範囲	注意事項
会計のオン/オフ	「プログラミング」- 「会計担当プロフィール」の章参照。	オフ/オン	-

「インフォメーション」メインメニュー			
パラメータ	説明	設定範囲	注意事項
マシンカウンター/一時的なカウンター	<p>飲み物や飲み物の準備プロセスのカウンター状況すべての概要。</p> <p>マシンカウンターおよび一時的なカウンターは全体でしか削除することができません:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ボタンを押します。</li> </ul>	-	使用者カウンターと全体カウンターの区別。使用者カウンターは削除できるので、これにより特定の時間の間カウンターを作動させることができます。全体カウンターは削除できません!
クリーニングの統計	ここでは様々なクリーニングの日時を読み取ることができます。	-	-

## 品質管理マネージャープロフィール

「[品質管理マネージャー]」ではカウンター状況や統計を読み出すことができます。

[品質管理マネージャー]プロフィールの[設定]「サービスメニュー」内には「情報」メインメニューが設けられています。

[品質管理マネージャー]プロフィールには以下のメインメニューが含まれています:

- システム
- インフォメーション

[品質管理マネージャー]プロフィール内の「サービスメニュー」からは、以下の機能を直接選択することができます:

- ミルクシステムのスイッチ オン/オフ
- クイックインフォの電源オン(現在のボイラー温度がディスプレイの右下に表示されます)
- 設定
- スタンバイ
- サービスドアを開く



メインメニューの内容については本章の後方にて説明されています。

「システム」メインメニュー			
「クリーニング」メニュー	説明	設定範囲	注意事項
エキスパートモードクリーニング	<p>クリーニングをオンにすると、自動的にエキスパートクリーニングがスタートします。</p> <p>全ての準備ステップがリストアップされます。これらのステップを随意に中止することができます。全てのステップが実行されサービスドアが再び閉まった後、有効になる  ボタンでクリーニングをスタートすることができます。</p>	オフ/オン	<p>クリーニングを  ボタンで中断すると、クリーニング要求は残ったままになります。</p> <p>クリーニングはスイッチを切るかまたは停電によっても中断することがあります。</p> <p>中断されたクリーニングは、クリーニングを再度スタートさせることで完了することができます。</p>

「情報」メインメニュー			
パラメータ	説明	設定範囲	注意事項
マシンカウンター / 一時的なカウンター	<p>飲み物や飲み物の準備プロセスのカウンター状況すべての概要。</p> <p>マシンカウンターおよび一時的なカウンターは全体でしか削除することができません:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶  ボタンを押します。</li> </ul>	-	<p>使用者カウンターと全体カウンターの区別。使用者カウンターは削除できるので、これにより特定の時間の間カウンターを作動させることができます。全体カウンターは削除できません!</p>
クリーニングの統計	ここでは様々なクリーニングの日時を読み取ることができます。	-	-

## 障害の除去

### 「スマート インフォ」画面

[インフォメーション]ボタンは、エラーが存在する場合やマシンを継続して使用するためにユーザーもしくはサービス技術者による介入が必要な場合に表示されます。飲料水タンクを新たに補充しなければならない場合など。

このような場合、メインスクリーン上に [インフォメーション] ボタンが表示されます。



要求された処置が行われるまで、原因によっては飲み物の注出がストップされます。



- ▶ [インフォメーション] ボタンを押します (図を参照)。  
☑ 「スマート インフォ」画面が開きます (図を参照)。

- ▶ 指示された処置を実行します。

それでもディスプレイのメッセージが消えない場合、障害が発生している可能性があります。

- ▶ サービスパートナーに連絡してください (www.schaerer.com を参照のこと)。

1/1



「障害の除去」 - 「メッセージ伴う障害」の章を参照。

### メッセージ伴う障害

重要な障害メッセージは以下に紹介されています。考えられるすべての障害除去処置を取ってもエラーが存在する場合は、サービスパートナーに連絡してください (www.schaerer.com を参照のこと)。

ディスプレイメッセージ	原因	除去
ミルクレベル 低 (まだ使用可能な残量がある)	新鮮なミルクのコンテナがほとんど空です。	▶ 新鮮なミルクのコンテナを都合の良い時に補充します。
ミルクが空です	新鮮なミルクのコンテナが空です。	▶ 新鮮なミルクのコンテナを取り外します。 ▶ コンテナを入念にクリーニングします ▶ コンテナに ±5°C の予め冷却した新鮮なミルクを充填し、再びマシンに取り付けます。
雫受けを空にします	雫受けがいっぱいです。	▶ 雫受けを空にします ▶ 雫受けをクリーニングし、再び取り付けます。
雫受けがありません	雫受けが正しく取り付けられていない、または取り付けられていません。	▶ 雫受けが取り付けられていること、および正しく取り付けられていることを確認してください。

ディスプレイメッセージ	原因	除去
左グラインダーのオーバーロード/ブロック 右グラインダーのオーバーロード/ブロック	一定の時間内に非常に高い電流値 (>8 A) が測定されました。マシンによって新たに 5 回グラインダーの作動が試みられた後、「左もしくは右側グラインダーの過負荷」メッセージが表示されます。  この状態にて新たに飲み物が注文され、問題が解決されないままの場合、メッセージが「左もしくは右側グラインダーの過負荷/ブロック」に変わります。飲み物の注出はストップされています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マシンの電源を切ります。</li> <li>▶ グラインダーがブロックされていないか点検し、異物がある場合にはこれを取り除きます。</li> <li>▶ マシンを再起動してください。</li> <li>▶ エラーが再び表示される場合には、サービスパートナーに連絡してください。</li> </ul>
熱湯ボイラー 温度が高すぎます。	水の供給が中断されます。	▶ 飲料水タンクのレベル、または水道水接続の状態を点検してください。
	抽出ユニットがブロックされています。	▶ 抽出ユニットを点検し、クリーニングしてください。
	マシンが過熱しています。	▶ マシンを電源から外して冷却してください。
	SSR が故障しています。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
	Klixon が作動しました。	
スチームボイラーの温度が低すぎます。	水の供給が中断されます。	▶ 飲料水タンクのレベル、または水道水接続の状態を点検してください。
	スチームシステムが目詰まりしています。	▶ 飲み物の出口とスチームシステムを点検し、クリーニングしてください。
	マシンが過熱しています。	▶ マシンを電源から外して冷却してください。
	SSR が故障しています。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
	Klixon が作動しました。	
熱湯ボイラー 温度が低すぎます。 スチームボイラーの温度が低すぎます。	加熱時にエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マシンを電源から外してください。</li> <li>▶ マシンを再び接続し、電源を入れます。</li> </ul>
熱湯ボイラー ヒーティング タイムアウト スチームボイラーのヒーター タイムアウト	ヒーターの電源が入っているにもかかわらず、5 分以内に規定温度に達しませんでした。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
熱湯ボイラー NTC のショート 熱湯ボイラー NTC がショートしています	マザーボードによって抵抗が検知されません。最高温度 (約 150°C) が測定されました。  飲み物の注出はストップされています。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
熱湯ボイラー NTC オープン スチームボイラー NTC オープン	温度センサーが接続されていません。最低温度が測定されました。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
沸騰装置モーターの過電流	抽出ユニットのモーターで過電流が検知されました。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
沸騰装置モーターの無効電流	抽出ユニットが「作動」していない場合でも、最小限の待機電流が通っています。待機電流が通っていない場合には、エラーが発生しています。原因としては抽出ユニット、配電盤、またはケーブル接続が考えられます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 抽出ユニットがブロックされていないか点検してください。</li> <li>▶ それでもまだエラーが存在する場合は、サービスパートナーに連絡してください。</li> </ul>

ディスプレイメッセージ	原因	除去
抽出ユニット タイムアウト	抽出ユニットには「初期位置」用スイッチが設けられていません。抽出シリンダーの位置は電流値の測定によって検知されます。以下のピーク値が検知されます：上部および下部位置  以下のタイムアウトが設定されています：抽出ユニットが作動してから 10 秒以内に電流のピーク値が検知されない場合、「抽出ユニットのタイムアウト」が表示されます。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
水の流れの異常	コーヒー飲料注出中、流量計の最低回転数が設定された数値におよびません。高い確率で給水システム全体のどこかがブロック/部分的にブロックされています。	▶ 飲料水タンクのレベル、または水道水接続の状態を点検してください。
		▶ 内部もしくは外部飲料水タンクを点検してください (フィルターが詰まると流量が減少します)。
		▶ 上部ピストンがブロックされているか、部分的に固着していないか点検します。
		▶ 挽き具合を点検します。  グラインダーの設定が非常に細かい場合、水の流れが妨害されたり完全にブロックされる恐れがあります。
▶ それでもまだエラーが存在する場合は、サービスパートナーに連絡してください。		
スチーム供給 エラー	レベルセンサーによってスチームボイラー内のレベルが低くなっていることが検知されました。ボイラーの補充が試みられました。それでも、レベルセンサーによって 60 秒以内に水が検知されませんでした。補充プロセスが中断されます。  スチームを必要とする飲み物の注出がストップされます。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
コミュニケーション処理エラー (タッチ <> 電源部) 通信エラー (タッチ <> 電源部)	電源部とタッチパネル間の通信エラー。	▶ サービスパートナーに連絡してください。
会計システムを初期化しています。	ステータス メッセージのみ。	-
会計システムはオンラインです。	ステータス メッセージのみ。	-
会計システムはオフラインです。	ステータス メッセージのみ。	-

ディスプレイメッセージ	原因	除去
<p>データベースを起動できません</p> <p>データベース バージョンが不適切です</p> <p>ユーザーインターフェースを起動できません</p> <p>制御プロセスでのエラーメッセージ</p> <p>制御プロセスを起動できません。</p> <p>制御プロセスが予期せずシャットダウンされました。</p> <p>制御プロセスを初期化できません。</p> <p>制御プロセスとの通信を設定できません。</p> <p>通信が制御プロセスにより中断されました。</p>	<p>深刻なエラー / 内部エラー</p> <p>ソフトウェア起動時にエラーが発生しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ マシンを電源から外してください。</li> <li>▶ マシンを再び接続し、電源を入れます。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ソフトウェアを新たにインストールしてください。</li> <li>▶ シェーラーのテクニカルサポートまでお問合せください。</li> </ul>

## 注意事項

### 洗剤

#### 用途

**注意!**  
使用者のため危険!



洗剤を体内に取り込むことにより、中毒を起こす危険があります。  
必ず以下の項目を厳守してください：

- ・ 洗剤は子供や関係者以外の人物の手の届かない場所に置いてください。
- ・ 洗剤を飲み込まないでください。
- ・ 洗剤は決してその他の化学物質や酸と混合しないでください。
- ・ ミルクコンテナには決して洗剤を使用しないでください。
- ・ 飲料水タンク（内部 / 外部）には決して洗剤を使用しないでください。
- ・ 洗剤およびカルキ抜きはそれぞれ指定の用途にのみ使用してください（ラベルを参照）。
- ・ 洗剤使用中は飲食を行わないでください。
- ・ 洗剤使用中はしっかりと換気が行われていることに注意してください。
- ・ 洗剤使用中は保護手袋を着用してください。
- ・ 洗剤使用後はすぐに丁寧に手を洗ってください。



洗剤使用前には、パッケージの情報に注意深く目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社（洗剤のパッケージを参照）にこれを請求することができます。

#### 保管

必ず以下の項目を厳守してください：

- ・ 子供や関係者以外の人物の手の届かない場所に保管してください。
- ・ 低温で光が当たらず、湿度の低い場所に保管してください。
- ・ 酸とは分けて保管してください。
- ・ 購入したパッケージのまま保管してください。
- ・ 毎日および毎週使用する洗剤とは分けて保管してください。
- ・ 食品や嗜好品とは分けて保管してください。
- ・ 化学物質（洗剤）の保管に関する現地の法規制が適用されます。

#### 廃棄

利用が不可能な場合、洗剤とそのパッケージを現地の法規制に従って廃棄してください。

#### 緊急連絡先

洗剤メーカー（洗剤のラベル参照）に緊急時の連絡先（毒物に関する情報センター）の電話番号を尋ねます。国内にそのような機関がない場合、以下の標を参照してください：

スイス毒物情報センター	
スイス国外からの電話	+41 44 251 51 51
スイス国内からの電話	145
インターネット	www.toxi.ch

## 衛生規則

### 水

**注意！**  
使用者のため危険！



水の不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼす恐れがあります！  
必ず以下の項目を厳守してください：

- 水は汚れのない清潔な状態でなければなりません。
- マシンには浸透水もしくはその他の刺激的水を接続しないでください。
- 炭酸塩硬度は 5 ~ 6°dKH (ドイツ炭酸硬度) (ドイツ炭酸塩硬度) もしくは 8.9 ~ 10.7°fKH (フランス炭酸硬度) (フランス炭酸塩硬度) を上回らないでください。
- また、総硬度は常に炭酸塩硬度を上回らなければなりません。
- 最低炭酸塩硬度は 5°dKH (ドイツ炭酸硬度) もしくは 8.9°fKH (フランス炭酸硬度) となっています。
- 1ℓ当たりの最大塩素は 100 mg です。
- pH 値は 6.5 ~ 7 の間でなければなりません (pH 値中性)。

飲料水タンク (内部 / 外部) 付きマシン：

- 飲料水タンクには毎日新鮮な水を入れてください。
- 水を入れる前には、飲料水タンクを丁寧にすすぎます。

### コーヒー

**注意！**  
使用者のため危険！



コーヒーの不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼす恐れがあります！  
必ず以下の項目を厳守してください：

- パッケージを開く前に損傷がないか点検します。
- コーヒー豆は必ず 1 日に必要な量だけをマシンにセットします。
- コーヒー豆投入後はコーヒー豆ケースのカバーをすぐに閉めます。
- コーヒーは乾燥した低温で暗い場所に保管してください。
- コーヒーは洗剤とは分けて保管してください。
- 古い商品からまず消費します (「先に使うことで先なくなる」)。
- 賞味期限切れ前には消費してください。
- 開けられたパッケージは常にしっかりと閉め、中身が新鮮に保たれ、汚れが混入しないようにしてください。

### ミルク

**注意！**  
使用者のため危険！



ミルクの不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼす恐れがあります！  
必ず以下の項目を厳守してください：

- 生乳は使用しないでください。
- 低温殺菌されたもの、または UHT ミルクのみを使用してください。
- ホモミルクのみを使用してください。
- 事前に冷却された 3 ~ 5°C のミルクを使用してください。
- ミルクを伴う作業では保護手袋を着用してください。
- ミルクは購入時のパッケージから直接使用してください。
- 絶対に後からミルクを注ぎ足さないでください。コンテナはミルクを入れる前に常に丁寧に洗浄してください。
- パッケージを開く前に損傷がないか点検します。
- ミルクは必ず 1 日に必要な量だけをマシンにセットします。
- ミルクを入れた後は、ミルクコンテナのカバーと冷却ユニット (内部 / 外部) をすぐに閉めます。
- ミルクは乾燥した、低温 (最高 7°C) で暗い場所に保管してください。
- ミルクは洗剤とは分けて保管してください。
- 古い商品からまず消費します (「先に使うことで先なくなる」)。
- 賞味期限切れ前には消費してください。
- 開けられたパッケージは常にしっかりと閉め、ミルクが新鮮に保たれ、汚れが混入しないようにしてください。

## マシン用パウダー / インスタントパウダー

**注意！**  
使用者のため危険！



マシン用パウダーの不適切な取り扱いにより、健康に影響を及ぼす恐れがあります！  
必ず以下の項目を厳守してください：

- パッケージを開く前に損傷がないか点検します。
- マシン用パウダーは必ず 1 日に必要な量だけをマシンにセットします。
- パウダー補充後はパウダーホッパーの蓋をすぐに閉めてください。
- マシン用パウダーは乾燥した低温で暗い場所に保管してください。
- マシン用パウダーは洗剤とは分けて保管してください。
- 古い商品からまず消費します（「先に使うことで先になくなる」）。
- 賞味期限切れ前には消費してください。
- 開けられたパッケージは常にしっかりと閉め、中身が新鮮に保たれ、汚れが混入しないようにしてください。

## 保証

### 使用会社の義務

マシンの使用会社は、シェーラー社サービスパートナー、委託業者もしくはその他の認可された人物による安全装置の定期的なメンテナンスおよび点検を行う義務があるものとします。

欠陥については、30 日以内に書面でシェーラー社にクレームとして報告すること。後から欠陥が見つかった場合には、この期間が取付けから 12 カ月以内（作業レポート、納入記録）となるものの、遅くともツツフヴィルの工場から発送されてから 18 カ月以内とします。

安全バルブ、安全サーモスタット、ボイラーなどの安全性に関わるパーツの修理は絶対に行わないでください。これらのパーツは必ず交換してください！

間隔としては以下が適用されます：

- 安全バルブは 24 カ月ごと。
- ボイラー（スチーム発生装置、連続フロー式ヒーター）は 72 カ月ごと。

これらはシェーラー社のサービス技術者もしくはサービスパートナーにより、メンテナンスの枠組として実行されます。

### 保証および損害賠償請求

以下のいずれか、または複数の原因によって生じた人的および物的損傷における保証および損害賠償請求は、この対象外となります：

- 機器が適切に使用されなかった場合。
- 機器および付属のオプション機器の取付け、試運転、操作、クリーニングおよびメンテナンスが不適切な場合。
- メンテナンス間隔が守られなかった場合。
- 安全装置の故障、不適切な取付け、安全および保護装置が機能していない状態での機器の使用。
- 取扱説明書内のマシンの保管、取付け、試運転、使用およびメンテナンスについての安全に関する注意事項が守られなかった場合。
- 欠陥のない状態で機器が使用されなかった場合。
- 不適切な修理が行われた場合。
- シェーラー社製オリジナル交換パーツでないものが使用された場合。
- シェーラー社によって推奨されていない洗剤が使用された場合。
- 異物の混入、事故、破壊行為および大きな力が加わるなどの惨事。
- マシンに物を挿入したり、ハウジングが開かれた場合。

指定されたメンテナンスおよび整備インターバルが遵守され、当社または当社公認のサプライヤーから購入した純正交換部品が使用される場合のみに限り当社が保証し、適切な場合補償請求を受けるものとします。



シェーラー社の「一般取引条件」が適用されるものとします。